

南山大学 学生生活案内

GUIDE BOOK OF CAMPUS LIFE

2020



南山大学

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18
Phone 052-832-3111 (代表)

<https://www.nanzan-u.ac.jp/>

NANZAN
UNIVERSITY

NANZAN UNIVERSITY

コミュニケーションロゴ

コミュニケーションロゴは、ZANを上昇させ、NとZを交じ合わせ、プラス思考・交流をイメージさせる十字を形づくったデザインです。十字はキリスト教の精神を表すと共に、今まで培ってきた伝統を大切にしながら、新しい付加価値を創造し、未来へ発展していこうとする「伝統と未来の調和」を象徴しています。ZANが上がっている形状は、向上心とチャレンジ精神など前向きな上昇志向を表現しています。



エンブレム

南山大学の伝統性を表現し、象徴性と権威性を強調したものです。NANを縦にZANを横に組み合わせ、クロスを描いた形を表現し、キリスト教の精神を象徴した独自性と知性の標章です。クロスの中には、アルファベットの先頭文字Aが重なっています。Aは「No.1、最高位」を意味し、国際的にもトップに輝く南山大学を表しています。

コミュニケーションロゴ エンブレム	1
Contents	2
南山大学の教育モットー	4
建学の理念	
南山大学の特徴	4
質の高い教育	
地域社会への貢献	
国際性	
AΓOPA(アゴラ)	
EPISTOLA(エピストラ)	
個の力を、世界の力に。	
学生による授業評価	
南山大学の沿革	6
南山大学の組織	8
南山大学の教育・研究組織図	
南山大学の事務組織図	
南山大学の役職者(2020年度)	
基本事項	12
学生証	
学生番号	
指導教員	
メンバーシップ契約	
窓口・Webページ案内	13
学生生活窓口	
在学生向けWebページ「在学生の皆様」	
無線LAN接続	
PORTA(ポータルシステム)	
こんな場合はどうする	
掲示板	19
公示・掲示・学生用掲示板	
各種証明書の発行	20
証明書等の交付願と手数料	
授業・試験	21
授業と試験	
追試験	
成績発表および成績疑問調査	
卒業	
学籍	24
休学	
復学	
退学	
再入学	
学生納入金	25
学生納入金	
納入についての注意	
延納	
減免について	
休学中の学生納入金と在籍料について	
高等教育の修学支援新制度について	

奨学金等	27
奨学金	
教育ローン	
通学	28
学割証	
定期券	
自動車通学	
自動二輪車(原付を含む)・自転車通学	
通学マナー	
学生ロッカー・学生セミナー室	30
学生ロッカー	
学生セミナー室	
マンション・アルバイト	32
南山大学学生専用マンション	
民間のアパート・マンション	
アルバイト	
多文化交流	33
海外派遣留学制度	
短期留学プログラム	
国際学生宿舎	
多文化交流ラウンジ	
ジャパンプラザ	
奨学金	
課外活動案内	35
課外活動の概要	
集合・行事の許可申請	
印刷物の配布・貼紙・立看板について	
課外活動団体宛郵便物	
課外活動登録団体	
課外講座	
南山エクステンション・カレッジ	
保健センター (保健室・学生相談室・特別修学支援室)	39
保健室	
学生相談室	
特別修学支援室	
健康診断	
AED(自動体外式除細動器)	
予防接種	
インフルエンザ	
保険・ハラスメント	41
保険	
見舞金・弔慰金・慰問金	
ハラスメントへの対応	
キャリア支援	42
キャリアサポートプログラム	
インターンシップ	
就職の指導と斡旋	
防災	44
防災	

注意事項 46

学内で盗難等の事故に遭ったら遺失物と盗難防止
飲酒について—南山大学の基本方針と注意喚起—
喫煙
学内施設の保全と防災・防火
地域住民等への迷惑行為の禁止
キャンパスマナー
「悪徳業者」「マルチ商法」による被害に遭わないために
悪質な宗教団体からの勧誘
学生ローン・クレジットカード使用の注意
ひとり暮らしに関する注意
薬物使用に関する注意
海外へ渡航する際の注意
ソーシャルネットワークサービス(SNS)を利用する際の注意

大学内施設 50

キャンパス校舎
総合受付
本部棟
C棟
食堂・コンビニエンスストア・書店など
教室棟
S棟
昼食利用可能な教室
人類学博物館(R棟地下1階)
L棟(ヒルシュマイヤー記念館)
第1研究室棟
第2研究室棟・N棟
リアン
R棟
図書館
J棟
D棟
F棟
K棟
A棟(法科大学院棟)
クラブハウス・第2クラブハウス・リアンクラブハウス
コパン(学生会館)
Q棟
体育施設
ロゴスセンター(キリスト教センター)
茶室
グリーンエリアとパッヘスクエア
研究所等

図書館 58

図書館利用ガイド

その他の施設 60

南山大学の研修施設
同窓会
神言神学院
南山アーカイブズ

学則・規程・ガイドライン等 63**南山大学学生歌** 63**キャンパスマップ** 巻末

避難経路図

南山大学の教育モットー

HOMINIS DIGNITATI 人間の尊厳のために

建学の理念

南山大学を運営する南山学園は、カトリックの修道会である神言会が設立母体となっています。明治末期に來日した神言会ドイツ人宣教師ヨゼフ・ライネルス神父が、1932年に南山中学校(旧制)を設立。1946年南山外国語専門学校(1947年名古屋外国語専門学校に改称)が開設され、1947年の学校教育法に基づく学制改革によって1949年1学部4学科からなる南山大学となり、初代学長にはアロイジオ・パツヘ神父が就任しました。以来70年を経た今日では、8学部17学科および6研究科を擁する総合大学へと発展しています。

南山大学は、男女共学の総合大学としては、中部唯一のカトリック系ミッションスクールで、「キリスト教世界観に基づく学校教育を行い、人間の尊厳を尊重かつ推進する人材の育成」をその建学の理念としています。この建学理念に具体的な方向性を与えるために、本学は「人間の尊厳のために」(ラテン語でHominis Dignitati)という教育モットーを掲げています。

キリスト教では、人間は神に創造されたものとして優すことのできない「尊厳」つまり人間としてのかけがえのない価値や権利を持っている、と教えられています。このような人間の尊厳をしっかりと把握し、これを尊重しつつ生きていく

人間になるように、という願いがこのモットーに込められているのです。

学生の皆さんが在学中、学問と信仰の光に照らして、人間の尊厳と人生の真の意味について考え、人間のあるべき姿に近づき、人間としてふさわしい生き方ができる社会を築く力を養うようにと願っています。



初代学長 アロイジオ・パツヘ神父

南山大学の特徴

質の高い教育

南山大学では、少数の例外を除けば、学生は他学部の講義を自由に履修することができます。学部間の垣根が極めて低い総合大学だということは本学の特徴だと言えるでしょう。

クラスサイズが教育効果に影響を与えるのは言うまでもありません。本学では、社会科学系学部の必修科目で受講者数が数百名に達するものもありますが、一般には小クラスが極めて多いことが特徴的です。殊に、ゼミナールを中心とする指導の原則は固く守られています。

本学では原則として、すべての教員が専門も教養も教えることになっています。この考えは当然カリキュラムにも反映して、すべての学部・学科で専門教育科目は1年次から始まります。教育組織でもカリキュラムの面でも専門と教養の教育が一本化しているのは本学の教育の重要な特色です。

地域社会への貢献

南山大学は地域社会と深く結び付いた大学です。学生の多数はこの地方の出身で、卒業生の多くは中部地方に本社を持つ企業に就職し、また高校・中学の教員や公務員の道に進む者も多いのも特色と言えます。

本学は大学の社会的責務について早くから深い関心を持ち、南山エクステンション・カレッジ公開講座・公開講演会など主に大学が企画・運営し、社会へ積極的に働きかけるもの、学外講座、寄附講座など自治体や企業と連携・協力して行うもの、総合学習のように中学・高校からの要請を受けて講師を派遣するものなどを実施しています。また、小学生・中学生を対象とした講座も開講するなど、南山大学の『知』を社会に還元しており、機会あるごとに地域社会への貢献を推進しています。

国際性

国際性もまた、設立当初から南山大学の特色と考えています。研究者、教員のレベルだけでなく、学生においても、交流は国の内外を問わず極めて活発です。交換留学を行う協定校の数も増え、2018年度は800名以上の学生が米国をはじめとする世界の各大学に留学し、外国人留学生別科においては、年間約200名の世界各国の学生が日本語や日本文化等を学ぶほか、学部あるいは大学院でも約130名の留学生が、日本人学生と肩を並べて学んでいます。

外国人専任教員の数が多いことは全国有数ですが、そのほかにも客員講師や短期滞在の研究者も迎えています。

クォーター制導入とともに、「第2クォーター在学中在外学習制度」を設立しました。これは「南山大学学生留学規程」で定める留学期間(3ヶ月以上)に満たない期間、第2クォーターに海外の大学で開講されるサマースクール等を履修し、その単位を本学の単位として認める制度です。「Hop, Step, and Jump to the World」と呼ばれる長期留学までの段階的なプログラムの一つとして、南山の国際教育のさらなる促進に役立つと考えられます。



AΓOPA(アゴラ)

自己点検・評価委員会が、大学と学生の対話の場として、学内専用Webページに設けている投書箱です。学生の皆さんの率直な意見により、大学の改善を図っていききたいと思います。次のURLから皆さんの声をお寄せください。

<http://agora.nanzan-u.ac.jp/>

EPISTOLA(エピストラ)

学長自らが語る「南山大学の今」(最新のニュースなど)をメールマガジンとして、毎月1回在学生、保護者をはじめ、受験生、卒業生、一般の方へお伝えしています。配信の申し込みは次のURL(登録画面)からお願いします。

<https://www.nanzan-u.ac.jp/magazine/>

個の力を、世界の力に。

南山大学では、2006年度末に20年後の将来像(グランドデザイン)を策定し、そのビジョン・キーフレーズを「個の力を、世界の力に。」と決めました。このビジョンは、「人種、障がい、宗教、文化、性別など、様々な違いを認識し、多様性を前提とした人間の尊厳、他者の尊厳を大切に、人々が共生・協働することで、新たな価値の創造に貢献する」ことで、本学は世界から選ばれ、世界に人材を輩出することができ、地域に根ざしていると同時に世界に開かれている大学になっているのだという願いを込めています。

このように様々な違いを認識し、多様性を尊重した新たな価値の創造は、今後、世界的にも重要な価値観のひとつとなるでしょう。人間の尊厳—自分自身と他者の尊厳を尊重し、それを指針に生き、推進していく人々が共生・協働することにより「個の力」が結集され、世界に貢献できる「世界の力」となりえます。本学が教育・研究・社会貢献を通じて実現するのは、「個の力」が錬磨され、新たな価値を創造する学的共同体であり、「世界の力」として世界に貢献できる人材の育成であると考えます。

学生による授業評価

南山大学では、「学生による授業評価」を全学で実施しています。「学生による授業評価」の目的は、教員が担当する授業に関して改善すべき点を見出し、積極的に自己研鑽を積むように促し、南山大学全体の教育の質を向上させることにあります。担当教員が南山大学の教員であるか他大学から出講している教員(非常勤講師)であるかにかかわらず、各学期1教員1科目を対象として実施しています。

授業は、皆さんと授業担当者が共同でつくりあげていくものです。そうした共同作品としての授業を評価するという視点から、率直かつ誠実な回答をお願いしたいと思います。

「学生による授業評価」の結果は冊子にまとめ、教務、学生関係部署および図書館で閲覧できるようになっています。また、授業評価結果の概要はWebページ上でも開示しています。

自由記述による意見、要望等に関しては、授業担当者だけでなく、関係事務部署で共有し、授業環境を整備するための参考とさせていただきます。また、意見、要望等への対応についてはWebページ上で開示します。「学生による授業評価」の趣旨をご理解いただき、授業評価の実施にご協力をお願いいたします。

南山大学の設立母体はカトリック教会の修道会「神言会」*です。この修道会は、1875年アーノルド・ヤンセン師によってオランダで創設され、以来宣教、司牧、司祭養成のほか、学校教育、学術研究、良書の出版普及などに尽力してきました。

神言会会員が日本に初めて渡来したのは1907年で、当初は宣教活動に重点を置いていました。しかし1932年、当時名古屋教区長であったヨゼフ・ライネルス神父が、日本における教育活動の重要性を感じ、昭和区五軒家町に財団法人南山中学校(旧制)を設立して、その初代校長に就任しました。

この法人が1946年には財団法人南山学園へと発展し、パッヘ神父の尽力によって、専門学校令による南山外国語専門学校(翌年名古屋外国語専門学校と改称)が創立されました。

財団法人南山学園は1951年、さらに学校法人南山学園に改組され、現在に至っています。

*神言会とは

Societas Verbi Divini、略称SVD、英語ではSociety of the Divine Word “神の言葉の会”を意味し、この名称は“人となられた神のこば”つまりキリストとの精神的一致を自覚しながら、教会の本質的なはたらきである宣教の使命を果すという会の目的に由来したものです。

<http://www.svdjpn.com/>

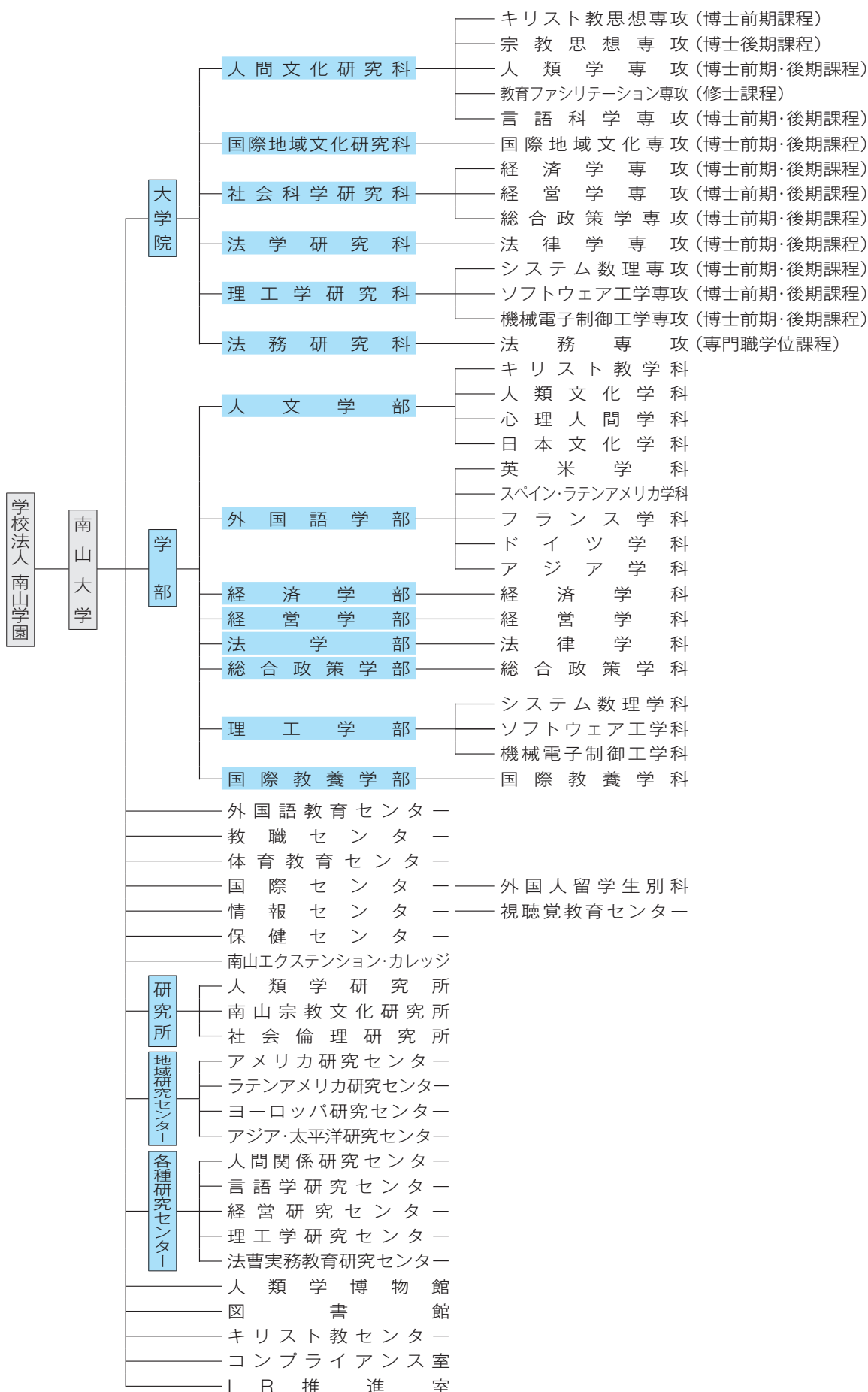
学生の皆さんにも本学の歴史を知ってもらうため、その発展の跡を年表にまとめました。

年 表

1946年 7月	南山外国語専門学校(英語科・華語科)、設置認可される(校長アロイジオ・パッヘ)	1969年 4月	文学研究科仏文学専攻修士課程を設置
1947年 4月	外国語専門学校に独語科・仏語科を設置	1972年 4月	文学部に国語学国文学科を設置 経営学研究科経営学専攻修士課程、文学研究科 仏文学専攻博士課程を設置
8月	名古屋外国語専門学校と名称変更	1973年 10月	ロゴスセンター開館式
1949年 4月	南山大学文学部英文学科・仏文学科・独文学科・中国文学科設置、同第二部(夜間部)を設置	1974年 4月	文学研究科独文学専攻修士課程、経営学研究科 経営学専攻博士課程を設置 外国人留学生別科(日本研究センター)を設置
9月	人類学民族学研究所を開設(後に人類学研究所と名称変更)	11月	南山宗教文化研究所を設置
1950年 4月	文学部哲学科・教育学科・社会学科を設置	1976年 4月	文学研究科独文学専攻博士後期課程を設置
1951年 3月	財団法人南山学園を学校法人南山学園に組織変更	5月	アメリカ研究センターを設置
1952年 4月	社会科学部社会学科・人類学科を設置	1977年 4月	法学部法律学科を設置
1958年 4月	社会科学部文化人類学専攻修士課程を設置	1979年 4月	文学研究科神学専攻修士課程を設置 人類学研究所附属陳列室が人類学研究所より 独立、人類学博物館となる
1960年 4月	経済学部経済学科を設置 同人類学科は文学部へ移行 文学部西語学科を設置 社会科学部文化人類学専攻修士課程と名称変更、文化人類学専攻博士課程を設置	1980年 5月	南山経済倫理研究所を設置(1981年 6月30日、社会倫理研究所と名称変更)
1962年 4月	文学部神学科を設置 文学研究科英文学専攻修士課程を設置	1981年 4月	法学研究科法学専攻修士課程、文学研究科に神学専攻博士後期課程を設置
1963年 4月	外国語学部英米科・イスパニヤ科を設置 文学部西語学科は外国語学部イスパニヤ科に移行 経済学部経営学科を設置 経済学研究科経済学専攻修士課程・博士課程を設置	1983年 4月	ラテンアメリカ研究センターを設置
1964年 4月	文学研究科英文学専攻博士課程を設置 名古屋市昭和区山里町の新校舎(現名古屋キャンパス)に移転	1984年 3月	ローマ教皇庁により文学部神学科・文学研究科神学専攻が在名古屋南山大学教皇庁認可神学部認可される
1968年 4月	経営学部経営学科を設置	1985年 4月	経営研究センター・視聴覚教育センターを設置
		1986年 4月	経営学部情報管理学科を設置 5月 オーストラリア研究センターを設置
		1988年 4月	外国語学部日本語学科を設置
		1991年 4月	ヨーロッパ研究センターを設置
		1992年 4月	外国語学研究科英語教育専攻修士課程・日本語教育専攻修士課程を設置

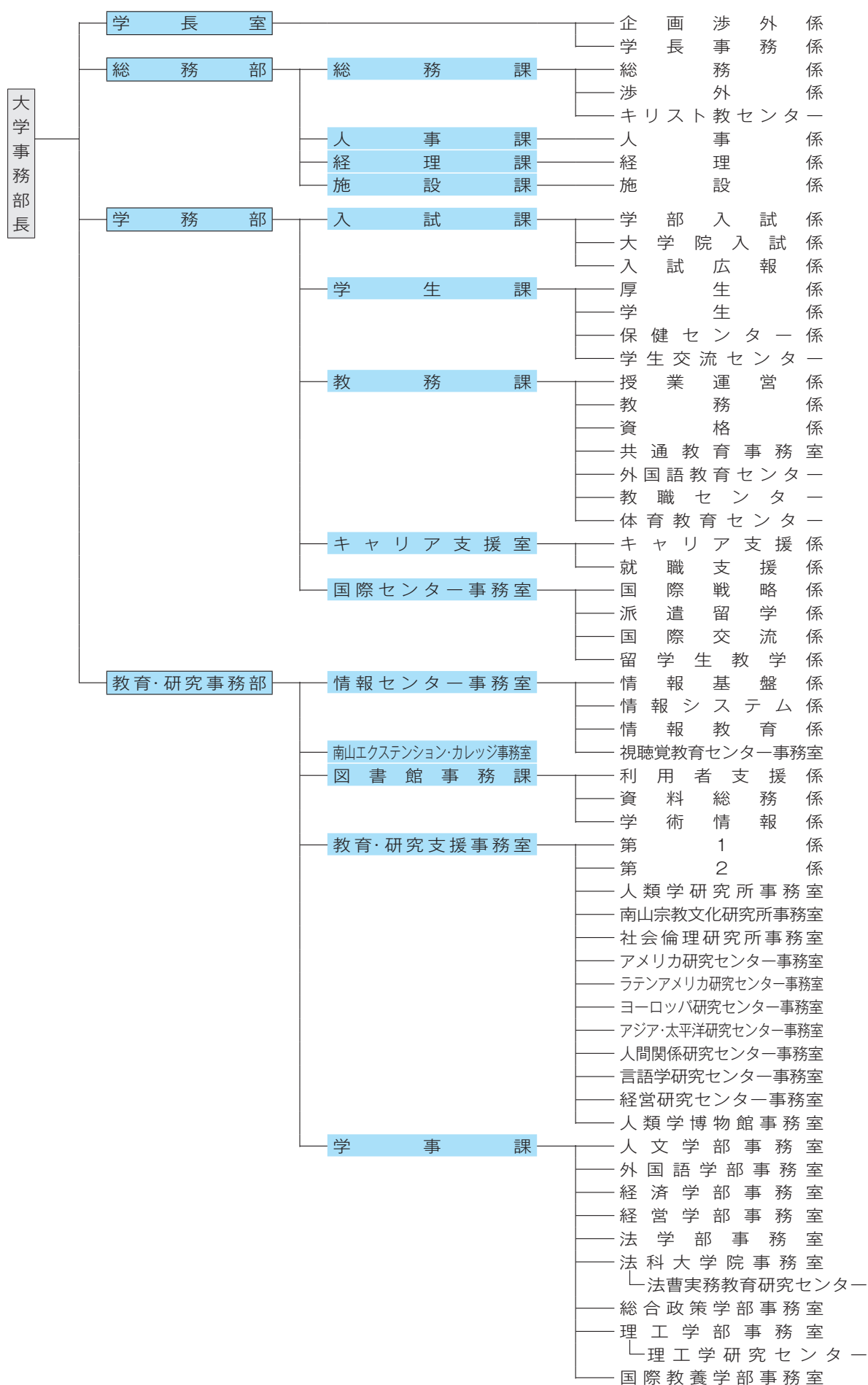
- 1995年6月 学校法人南山学園と学校法人名古屋聖霊学園が合併(新法人名は南山学園)
- 2000年4月 ◇名古屋キャンパス
人文学部キリスト教学科・人類文化学科・心理人間学科・日本文化学科、外国語学部英米学科・スペイン・ラテンアメリカ学科、フランス学科・ドイツ学科・アジア学科を設置
◇瀬戸キャンパス
総合政策学部総合政策学科、数理情報学部情報通信学科・数理科学科を設置
- 2002年4月 南山エクステンション・カレッジを設置
- 2003年4月 言語学研究センターおよびアジア研究センターを設置
- 2004年4月 ◇名古屋キャンパス
人間文化研究科キリスト教思想専攻修士課程・人類学専攻修士課程・教育ファシリテーション専攻修士課程・言語科学専攻修士課程、国際地域文化研究科国際地域文化専攻修士課程、法務研究科(法科大学院)法務専攻専門職学位課程を設置
◇瀬戸キャンパス
総合政策研究科総合政策専攻修士課程、数理情報研究科数理情報専攻博士前期課程・博士後期課程を設置
◇サテライトキャンパスを開設
- 2005年4月 ◇名古屋キャンパス
オーストラリア研究センターとアジア研究センターを統合し、アジア・太平洋研究センターを設置
数理情報研究センターを設置
- 2006年4月 ◇名古屋キャンパス
経営学研究科をビジネス研究科に名称変更、ビジネス研究科ビジネス専攻専門職学位課程を設置、人間文化研究科に宗教思想専攻博士後期課程・人類学専攻博士後期課程・言語科学専攻博士後期課程を設置
◇瀬戸キャンパス
数理科学科を情報システム数理学科に名称変更、総合政策研究科に総合政策専攻博士課程を設置
- 2007年4月 ◇名古屋キャンパス
英語教育センターを設置
法曹実務教育研究センター、リーガルクリニックを設置
◇瀬戸キャンパス
数理情報研究センターを瀬戸キャンパスに移転
- 2008年4月 南山大学附属小学校を開設
- 2009年4月 ◇瀬戸キャンパス
数理情報学部を情報理工学部に変更
数理情報学部情報通信学科、情報システム数理学科を情報理工学部ソフトウェア工学科、システム創成工学科および情報システム数理学科に改組
- 2010年3月 ◇サテライトキャンパスを閉鎖
- 2011年4月 ◇名古屋キャンパス
南山短期大学を南山大学短期大学部に名称変更し、名古屋キャンパスに移転
国際地域文化研究科国際地域文化専攻修士課程を博士前期課程に名称変更、国際地域文化専攻博士後期課程を設置
- 2013年4月 ◇名古屋キャンパス
教職センターを設置
◇瀬戸キャンパス
理工学研究科システム数理専攻博士前期課程・ソフトウェア工学専攻博士前期課程・機械電子制御工学専攻博士前期課程を設置
- 2014年4月 ◇名古屋キャンパス
社会科学研究科経済学専攻博士前期課程・経営学専攻博士前期課程を設置
◇瀬戸キャンパス
社会科学研究科総合政策学専攻博士前期課程を設置
情報理工学部を理工学部に変更
情報理工学部システム創成工学科および情報システム数理学科を理工学部機械電子制御工学科、システム数理学科に名称変更
数理情報研究センターを理工学研究センターに名称変更
- 2015年4月 ◇名古屋キャンパス
理工学部を名古屋キャンパスに移転
理工学研究科、数理情報研究科を名古屋キャンパスに移転
理工学研究センターを名古屋キャンパスに移転
理工学研究科システム数理専攻博士後期課程・ソフトウェア工学専攻博士後期課程・機械電子制御工学専攻博士後期課程を設置
- 2016年4月 学校法人南山学園と学校法人聖園学院が合併
◇名古屋キャンパス
社会科学研究科に経済学専攻博士後期課程・経営学専攻博士後期課程を増設
情報センター、コンプライアンス室、IR推進室を設置
◇瀬戸キャンパス
社会科学研究科に総合政策学専攻博士後期課程を増設
- 2017年4月 全学部・全学科を名古屋キャンパスに統合
総合政策学部を名古屋キャンパスに移転
社会科学研究科総合政策学専攻を名古屋キャンパスに移転
国際教養学部(国際教養学科)を設置
国際センター、外国語教育センター、体育教育センター、保健センター、キリスト教センターを設置
- 2019年4月 法学研究科法律学専攻博士前期課程・博士後期課程を設置

南山大学の教育・研究組織図



※ ビジネス研究科経営学専攻博士後期課程は募集停止しており、在学する者がなくなった段階で廃止する。

南山大学の事務組織図



南山大学の役職者（2020年度）

	学 長	KISALA, Robert
	副学長(総務・将来構想担当)	青木 清
	副学長(学務担当)	鈴木 達也
	副学長(研究推進・教育支援担当)	奥田 隆明
	副学長(グローバル化推進担当)	星野 昌裕
人文学部	学部長	西岡 淳
	キリスト教学科長	松根 伸治
	人類文化学科長	谷口佳津宏
	心理人間学科長	浦上 昌則
	日本文化学科長	初山 洋介
外国語学部	学部長	牛田 千鶴
	英米学科長	山辺 省太
	スペイン・ラテンアメリカ学科長	泉水 浩隆
	フランス学科長	COURRON, David
	ドイツ学科長	太田 達也
	アジア学科長	中 裕史
経済学部	学部長	岸野 悦朗
	経済学科長	都築 栄司
経営学部	学部長	南川 和充
	経営学科長	石垣 智徳
法学部	学部長	岡田 悦典
	法律学科長	佐藤 勤
総合政策学部	学部長	藤本 潔
	総合政策学科長	金綱 基志
理工学部 (情報理工学部)	学部長	大石 泰章
	システム数理学科長 (情報システム数理学科長)	三浦 英俊
	ソフトウェア工学科長	蜂巢 吉成
	機械電子制御工学科長 (システム創成工学科長)	河野 浩之
国際教養学部	学部長	斎藤 衛
	国際教養学科長	森山 幹弘
教務部長		小尾美千代
学生部長		豊島 明子
図書館長		山田 望
国際センター長		山岸 敬和
情報センター長		野呂 昌満
研究所総合委員会委員長		金 承哲
外国語教育センター長		山田 哲也
教職センター長		宇田 光
体育教育センター長		中路 恭平
保健センター長		中野 有美
人類学博物館長		奥田 隆明
キリスト教センター長		VARGHESE, Rejimon
コンプライアンス室長(危機管理担当)		榊原 秀訓
IR推進室長		石垣 智徳
指導司祭		井上 淳
		HERA, Marianus Pale
		VARGHESE, Rejimon

1

基本事項

基本事項

学生証
学生番号
指導教員
メンバーシップ契約

窓口・Webページ案内

学生生活窓口
在学生向けWebページ「在学生の皆様」
無線LAN接続
PORTA(ポータルシステム)
こんな場合はどうする

掲示板

公示・掲示・学生用掲示板

各種証明書の発行

証明書等の交付願と手数料

授業・試験

授業と試験
追試験
成績発表および成績疑問調査
卒業

学籍

休学
復学
退学
再入学

学生納入金

学生納入金
納入についての注意
延納
減免について
休学中の学生納入金と在籍料について
高等教育の修学支援新制度について

奨学金等

奨学金
教育ローン

通学

学割証
定期券
自動車通学
自動二輪車(原付を含む)・自転車通学
通学マナー

学生ロッカー・学生セミナー室

学生ロッカー
学生セミナー室

学生証

学生証は南山大学の学生であることを証明するものです。いつでも提示できるように常に携帯してください。

●提示の必要なとき

1. 在学証明書や学業成績証明書、学割証などの各種証明書の交付を受けるとき(P.20参照)
2. 通学定期券を購入するとき
3. 図書館を利用するとき
4. 定期試験を受けるとき
5. 本学教職員から提示を求められたとき
6. ワールドプラザを利用するとき

●有効期限 入学から最短修業年まで(以降年度更新)

●学生証再交付の条件

次の場合は、直ちに再交付の手続きをしてください。

1. 盗難にあったとき、紛失したとき
2. 著しく汚損したとき
3. 磁気が反応しなくなったとき
4. 改姓名等、記載事項の変更があったとき

●再交付に必要なもの

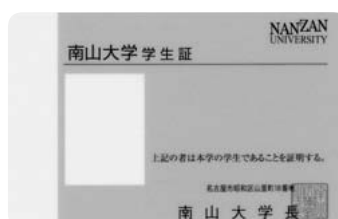
手数料1,000円(改姓名、磁気劣化の場合は不要)

●学生証の返還・交換

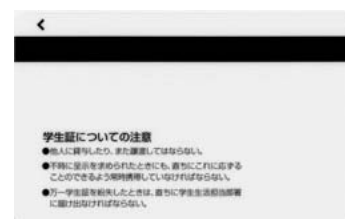
次の場合は、学生証を返還または交換してください。

1. 退学するとき(返還)
2. 転部または転科あるいは転専攻の許可があったとき(交換)
3. 有効期限が切れたとき(交換)
4. その他、学生の身分を失ったとき(返還)

※盗難にあったときは、悪用される恐れがありますので最寄りの警察署・交番に届けてください。



学生証おもて



学生証うら

学生番号

●学生番号の形態

学生番号は、各種事務処理、各種証明書の交付、試験の答案用紙に記入する等、個人を識別する大切な番号です。

2020	X	Y	001
入学年度	学部記号	学科記号※	個人番号

学部学科毎のアルファベット、個人番号の内訳は、右のとおりです。

※情報理工学部所属(2009～2013年度入学者)は、学部記号の一部です。

人文学部	キリスト教学科 人類文化学科 心理人間学科 日本文学科	HC001～ HA001～ HP001～ HJ001～
外国語学部	英米学科 スペイン・ラテンアメリカ学科スペイン専攻 スペイン・ラテンアメリカ学科ラテンアメリカ専攻 フランス学科フランス文化専攻 フランス学科フランス社会専攻 ドイツ学科ドイツ文化専攻 ドイツ学科ドイツ社会専攻 アジア学科東アジア専攻 アジア学科東南アジア専攻	FB001～ FS001～ FS501～ FF001～ FF501～ FG001～ FG501～ FA001～ FA501～
経済学部	経済学科	EE001～
経営学部	経営学科	BB001～
法学部	法律学科	JJ001～
総合政策学部	総合政策学科	PP001～
情報理工学部	ソフトウェア工学科 システム創成工学科 情報システム数理学科 情報理工学部所属	SE001～
理工学部	システム数理学科 ソフトウェア工学科 機械電子制御工学科	SS001～ SE001～ SC001～
国際教養学部	国際教養学科	GG001～

個人番号は氏名のアルファベット順です。

指導教員

学生の皆さんには指導教員が1名つきます。

学業、授業料、奨学金、休・退学等、学生の皆さんが抱える様々な問題についてアドバイスします。遠慮せず相談してください。

なお、自分の指導教員が分からない場合は、PORTA(南山大学ポータル)の学生メニュー、学生関連のページで確認できます。

メンバーシップ契約

南山大学では以下の機関とメンバーシップ契約を結んでいます。学生証を提示することにより、無料で入館できます。

- ・徳川美術館・蓬左文庫(メンバーシップ会員)
名古屋市東区徳川町1017(市バス「徳川園 新出来」より徒歩約3分)
- ・名古屋市博物館(パートナーシップ会員)
名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1(地下鉄桜通線「桜山」より徒歩5分)
- ・名古屋市美術館(学生メンバーズ)
名古屋市中区栄2-17-25(芸術と科学の杜・白川公園内)

学生生活窓口

窓口取扱時間

月～金 9:00～17:00

※土曜日の窓口事務取扱いについては各窓口において開室日を確認してください。

開門	閉門		
	正門	西門	東門
7:00	24:00	23:15	23:15

●各種窓口

事務室	場所	内容
学生課	C棟2階	休学、退学、学生納入金、奨学金、学生専用マンション、盗難、課外活動、保険
教務課	C棟3階	授業、試験
国際センター事務室	R棟2階	留学、国際学生宿舍、留学生との交流、NU-COILプログラム
キャリア支援室	Q棟2階	就職、インターンシップ、キャリアサポートプログラム
保健センター・保健室	D棟1階	健康診断、学生相談、特別修学支援
情報センター事務室	S棟3階	アカウント利用停止解除申請、Can@home利用申請
総合受付	正門	遺失物の預り、鍵の貸出

●学部事務室

事務室	場所
人文学部事務室	第1研究室棟3階
外国語学部事務室	L棟6階
経済学部事務室	J棟6階
経営学部事務室	J棟8階
法学部事務室	A棟1階
総合政策学部事務室	Q棟5階
理工学部事務室	S棟1階
国際教養学部事務室	Q棟7階

在学生向けWebページ「在学生の皆様」

課外活動、奨学金、留学、授業、就職など学生生活に欠かせない情報を南山大学Webページ「在学生の皆様」より提供しています。



南山大学 Webページ▶在学生の皆様

項目	内容
学生生活	学生納入金、学籍・身上異動、奨学金、課外活動、保健センター
教務案内(教務課)	休講、補講、教室変更、履修登録、時間割等
留学・国際交流	留学制度、留学奨学金、国際交流イベント、国際学生宿舍
キャリア支援	就職支援・キャリアサポートプログラム、インターンシップ、統計資料、窓口案内等
情報センター	利用ガイド、施設ガイド、ネットワークプリントサービス、パスワード変更、学外電子メールアドレス等

無線LAN接続

学内では無線LANサービスを提供しています。

AXIAアカウントによるユーザ認証を受けることで事前申請なく利用できます。

利用の詳細については「情報センター」Webページでご確認ください。

<https://office.nanzan-u.ac.jp/ocict/axia/>

PORTA(ポータルシステム)

南山大学の学生は南山大学WebページにあるPORTAから、必要な情報を取得し、履修登録や住所変更など様々な手続きを行うことができます。

大学から自宅に資料を送付することもありますので本人・保証人の住所が変更になった場合は必ずPORTAでそれぞれの情報を変更してください。



南山大学Webページ▶在学生の皆様▶学内システム▶PORTA

PORTA(ポータルシステム)の利用の仕方については、P.14～P.15に記載していますので、参照してください。

PORTA (ポータルシステム)

PORTA (ラテン語で門や入り口を表す)は、学生のための情報提供システムで、学生用システム(PORTA学生メニュー)の入り口にもなっています。学生はPORTAを利用して、以下の各機能を利用できます。

メニュー	機能概要
あなたへの連絡	あなた個人への事務連絡
お知らせ	学生の皆さんへのお知らせ
My Profile	個人情報の参照・変更
今日のスケジュール	個人スケジュールの管理
教務関連	履修登録・変更、時間割表の参照、休講/補講/教室変更情報(直近7日間)等の照会
保健関連	健康診断結果の照会
学生関連	個人情報の参照・変更、指導教員情報等の照会
キャリア支援関連	進路希望調査回答、求人情報、就職活動体験記等の参照、キャリアイベントの申込
FAQ	各課室FAQの参照
アンケート	アンケート回答、イベントの申込
マニュアル	PORTAガイドおよび操作マニュアルの参照

● 利用上の注意事項

- ・大学からのお知らせは、PORTAによって行われ、全体への「お知らせ」と、特定学生への「あなたへの連絡」があります。特に「あなたへの連絡」は緊急度の高いお知らせですので、必ず内容を確認し指示に従ってください。なお、PORTAのお知らせを読まなかったことによる不利益はご自身の責任となりますので、頻繁に確認する習慣を身につけてください。
- ・PORTAは、インターネットを介して学内および学外のネットワークから利用することが可能です。
- ・PORTAを利用するには、AXIA (南山大学情報ネットワークシステム)のアカウントとパスワードが必要です。
- ・学外ネットワークから履修登録等重要な更新を行う場合には、別途「Can@home」の利用申請が必要です。(p.15 参照)
- ・他人にAXIAのアカウントとパスワードを絶対に教えないでください。
- ・利用できるブラウザについては、ログイン画面の注意文を確認してください。
- ・PORTA使用中は、ブラウザの [戻る] ボタン  は使用しないでください。

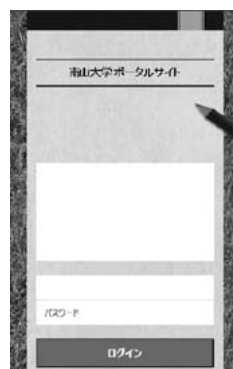
● ログイン

- ・ブラウザを起動し、南山大学Webページ>在学生の皆様>学内システム>PORTA  をクリックすると、ログイン画面が表示されます
- ・URL (https://porta.nanzan-u.ac.jp/) から、直接ログイン画面にアクセスすることも可能です。

〈PORTAログイン画面〉 【PC画面】

PORTA ログイン画面 (PC画面) のスクリーンショット。画面中央には「PORTA ポルタ」のロゴと「南山大学ポータル」の文字があります。ログインフォームには「ユーザID」と「パスワード」の入力欄があり、その下には「ログイン」ボタンがあります。

【スマートフォン画面】



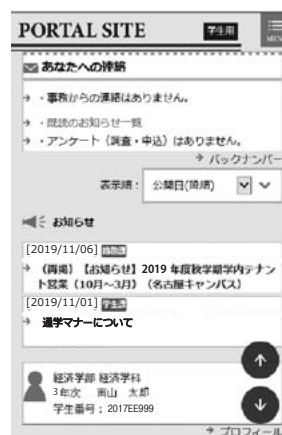
- ・AXIAのアカウントとパスワードを入力し、[ログイン] ボタンをクリックすると、学生トップページが表示されます。

〈学生トップページの画面例〉

【PC画面】



【スマートフォン画面】



〈学生メニューの画面例〉

【PC画面】



【スマートフォン画面】



●ログアウト

- ・作業が完了したら、必ずすべてのブラウザを閉じて終了してください。(PORTA以外のWebページを閲覧していたウィンドウもすべて閉じる必要があります。)
- ・共有PCでは、短時間でも席を離れる場合は、必ずブラウザを閉じてログアウトしてください。

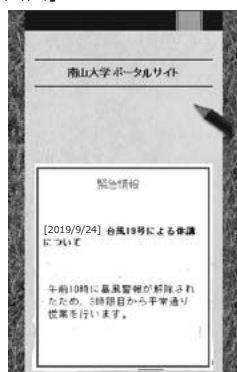
●緊急情報

- ・大学からの緊急情報は、PORTAのログイン画面に表示されます。

【PC画面】



【スマートフォン画面】



●学外からの利用

- ・学外のネットワークからPORTAを利用するサービスを「Can@home」と呼び、別途利用申請が必要です。
- ・メニューに★がある機能の更新処理を学外ネットワークから行う場合については、「Can@home」のワンタイムパスワードによる本人認証が必要となります。
- ・あらかじめPORTAに登録した学外の電子メールアドレス宛にワンタイムパスワードを送信し、そのパスワードを使うことで本人認証とします。
- ・「Can@home」の利用方法と注意事項を熟読し、遵守してください。

(<https://office-a.nanzan-u.ac.jp/ocict/userguide/canhome-new.html>)

なお、利用手順は以下の通りです。

①情報セキュリティに関する学習および理解度テストの受検

- ・「Can@home」を利用するにあたって留意すべき情報セキュリティを正しく理解していただくため、eラーニング(WebClass)で学習した上で理解度テストを受検し、10点満点をとってください。
- ・理解度テストに合格後1時間以内に、登録したメールアドレスへのワンタイムパスワード送信が可能となります。

②電子メールアドレスの登録・更新

- ・大学内で無線LAN(SSID:00axia)に接続し、

[PORTA学生メニュー ⇒ 個人情報管理 ⇒ 連絡先情報照会/変更★]

- ・の連絡先メールアドレス、携帯電話メールアドレスのいずれかに南山大学以外のメールアドレスを登録してください。(初めて登録する場合は、学内ネットワークからの限定となりますのでご注意ください。)
- ・連絡先メールアドレスを最新状態にしておくことで、「Can@home」のワンタイムパスワードが受け取れる他、万一AXIAアカウントが利用停止処分になった場合に、メールによる本人確認を行えることで、窓口に来ることなく利用停止解除申請が行えます。

③メール受信設定

- ・登録したメールアドレスが南山大学(@nanzan-u.ac.jp)からのメールを受信できるように設定してください。

●マニュアル等

- ・PORTA利用の詳細については、PORTA内からリンクしているPORTAガイドおよび各操作マニュアルを参照してください。

こんな場合はどうする

●学籍関係

項目	取扱窓口	対応事項	参照頁
住所・電話番号を変更するとき	学生課	PORTA(南山大学ポータル)の「学生メニュー」で各自変更する	—
改姓・改名があったとき		改姓・改名届を提出(発行後3ヵ月以内の戸籍抄本を添付)	—
保証人・緊急連絡先を変更するとき		保証人変更届・緊急連絡先変更届を提出	—
父母が死亡したとき		死亡届等を提出(弔慰金の支給があります)	—
休学するとき		休学願・保証人の理由書(病気等の場合、医師の診断書)を提出	24
復学するとき		通知に従って必要な手続きを行う	24
退学するとき		退学願・保証人の理由書(病気等の場合、医師の診断書)を提出 学生証・貸与ノートPC(貸与PCを借りている場合)を返却	24
転部・転科	入試課	試験の問い合わせ	—
	教務課	単位認定についての問い合わせ	—

●学生納入金・奨学金について

項目	取扱窓口	対応事項	参照頁
学生納入金全般について	学生課	納入時期等	25
学生納入金の延納をするとき		延納願を提出	26
減免を申請するとき		減免申請書を提出	26
学生納入金の口座変更をするとき		引落日の6週間前までに預金口座振替依頼書を提出	26
奨学金について		相談窓口・Webページ「学生生活」参照	27

●学習全般・カリキュラムについて

項目	取扱窓口	対応事項	参照頁
授業全般について	教務課	登録等	21
試験について		追試験・成績疑問調査	22

●証明書について

項目	取扱窓口	対応事項	参照頁
各種証明書について	各課室	一覧表を参照	20

●課外活動について

項目	取扱窓口	対応事項	参照頁
課外活動全般について	学生課	課外活動の案内等	35
行事・合宿をするとき		集合・行事許可申請書を提出	36
クラブで印刷物を発行するとき		掲示・配布物発行申請書を提出	36
クラブで掲示をするとき		掲示・配布物発行申請書を提出	36
学生教育研究災害傷害保険の請求		学生教育研究災害傷害保険金請求書を提出	41
事故にあったとき		負傷事故報告書を提出	41
入部・退部するとき		クラブを通じて入部・退部届を提出	—
幹部の交代をしたとき		クラブを通じて幹部交代届を提出	—

どの窓口かわからない事柄については、学生課でお尋ねください。

●留学・多文化交流について

項目	取扱窓口	対応事項	参照頁
留学全般	国際センター 事務室	留学の案内等	33
国際学生宿舎について		入居案内等	33
留学に関する奨学金について		留学用奨学金の案内手続き等	34
国際交流について		国際交流イベント、多文化交流ラウンジの案内等	33~34
留学からの帰国	学生課	留学帰国届を提出	—

●施設の利用について

項目	取扱窓口	対応事項	参照頁
研修センター	学生課	研修センター合宿許可申請書を提出	60
キリスト教センター（ロゴスセンター）	キリスト教センター 事務室	講座への参加・施設利用申込・ミサ	54~55
伊勢海浜センター	NES南山大学店	使用申請書はNES南山大学店（コバン3階）に提出	60
南山学園研修センター	南山学園研修センター	Phone 052-837-6466	60
神言会多治見修道院 ログハウス研修センター	修道院研修センター	Phone 0572-22-2038	60

●ネットワーク関係について

項目	取扱窓口	対応事項	参照頁
AXIA利用申請について	情報センター 事務室（※）	アカウント利用再申請等	—
Can@home利用申請について		利用前にWebClassを用いて理解度確認テストの合格が必要 学外（自宅）から履修登録等が可能	—
WebClassの利用について		WebClassの利用に関する相談全般	—
貸与ノートPCに関する相談、紛失、盗難の届出	情報センター TA室	貸与ノートPCに関する相談全般	—
貸与ノートPCの故障		故障、修理受付	—
斡旋ノートPCに関する相談		斡旋ノートPCに関する相談全般	—

（※）情報センターWebページを参照してください。
<http://office.nanzan-u.ac.jp/ocict/>

●その他

項目	取扱窓口	対応事項	参照頁
学生証の再交付	学生課	再交付手数料1,000円	12
通学定期券購入のための通学証明		JR、名鉄、近鉄、他社線連絡地下鉄など	28
学生専用マンション		入居案内等	32
民間のアパート・マンション案内		Webページ「学生生活」を閲覧	32
アルバイト		Webページ「学生生活」より閲覧、 家庭教師アルバイトについてはC棟2階学生課掲示板に掲示	—
盗難		盗難・紛失届を提出	46
落し物について	総合受付	受取の際は学生証を持参のこと	46
学割証の発行	C棟3階ロビー	証明書自動発行機で発行（設置場所はP.20を参照）	28

●外国人留学生のみ

項目	取扱窓口	対応事項	参照頁
奨学金	国際センター 事務室	外国人留学生対象奨学金	34
奨学金受給証明書		証明書申込書を提出	—
アルバイト		資格外活動許可申請にかかる届を提出	32
在留期間更新		在留期間更新許可申請の案内等	—
国際学生宿舎、留学生宿舎		入居申込、奨学寮案内等	33~34

●よくある質問

Q インフルエンザに感染した場合はどうすればよいですか。

A 一般的に熱が下がっても、しばらくはウィルスの感染力が残っているため、他の人に感染させる可能性があります。登校については、かかりつけの医師による指示にしたがってください。講義を欠席した場合は、後日、授業担当教員に欠席理由を報告してください。欠席が考慮されるかどうかは、授業担当教員の判断になります。

Q 親族が亡くなったときは忌引きの扱いになりますか。

A 本学には、公欠制度はありませんので、授業担当教員に個別に報告し、対応を相談してください。欠席が考慮されるかどうかは、授業担当教員の判断になります。

Q 証明書の自動発行機はどこにありますか。

A C棟3階ロビーにあります。稼働時間は、月～日の8:00～22:00までになります。

Q 証紙券売機の利用可能時間を教えてください。

A C棟3階ロビーとR棟2階にあります。稼働時間は、月～金の9:00～17:00までになります。

Q 学生食堂以外に昼食をとる場所がありますか。

A 12:35～13:20まで、S21、B11、DB1、G28、G30教室を昼食場所として開放しています。

Q 住所・電話番号を変更したいときはどうすればよいですか。

A PORTAの「学生メニュー」より各自で変更してください。なお、保証人と同居している方で、住所変更がある場合は、保証人の住所も必ず変更してください。

Q 学割証はどこで発行できますか。

A 学生証を持参の上、C棟3階の証明書自動発行機で発行してください。

Q 通学証明書はどこで発行できますか。

A 学生課で発行できます。初めて発行する場合は、証明写真(3cm×3cm)を持参するようにしてください。

Q AXIAのアカウントが利用停止になった場合はどうすればよいですか。

A 情報センターWebページに従い、利用停止解除の申請を行ってください。

Q 学内のプリンターで印刷したいのですが、ポイントはどのように追加すればいいですか。

A Q棟2階ラーニング・commons、S棟2階ロッカースペース、第2研究室棟1階ロビーにあるコインキットで課金してください。

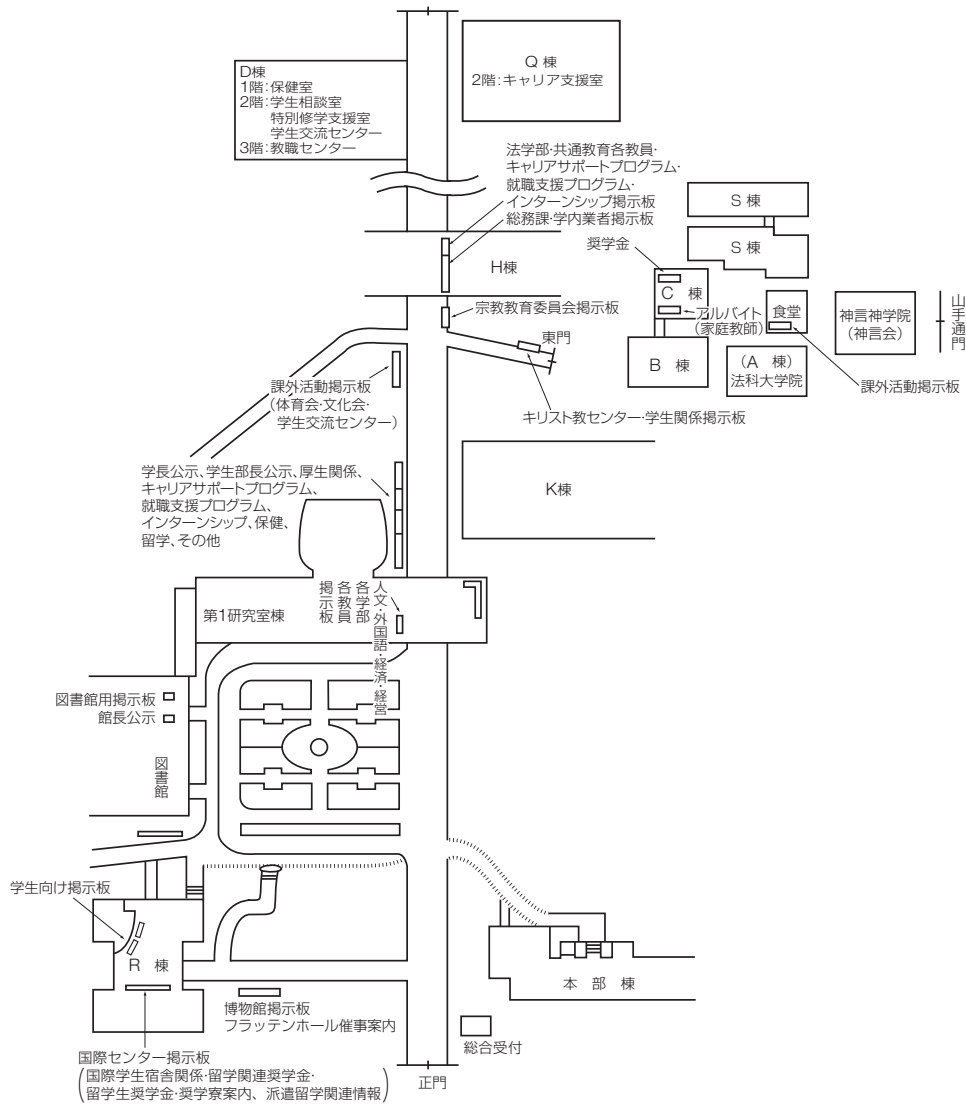
Q 学生相談室の相談は、有料ですか。

A 保健センター・学生相談室での相談は「無料」です。人間関係やこころの問題などで相談をしたいと思ったときに、自由に話せるところです(秘密は守ります)。相談予約は、D棟1階保健センター・保健室にて受け付けています。

公示・掲示・学生用掲示板

学生の皆さんへの重要事項の伝達は、Webページまたは掲示板によって行います。
また、昼休み、授業の前後の学内放送による連絡にも注意してください。

● 掲示板配置図



● 掲示板

公示・掲示の種類	掲示板的位罫
学長・学生部長公示・学生納入金・キャリアサポートプログラム・インターンシップ・就職支援プログラム・留学・国際学生宿舍・保健・その他厚生関係の掲示	第1研究室棟下北側(メインストリート沿い)
休講・補講・集中講義・各種ガイダンス・連絡事項・その他教務関係の掲示	教務課Webページ、教職センターWebページ、C棟3階ロビー
各学部・教員からの連絡事項	第1研究室棟下西側、H教室棟下、B棟下、R棟北側
奨学金・アルバイト(家庭教師)・その他各種ポスター	C棟2階、C棟階段踊り場
キャリアサポートプログラム・インターンシップ・就職支援プログラム関係の掲示	Q棟2階キャリア支援室
図書館関係の公示・掲示	図書館入口ホール
課外活動・その他学生用掲示	L棟南側、S棟食堂階段踊り場
体育会・文化会・学生交流センター専用掲示	L棟南側
留学生関連学生生活・国際学生宿舍・留学生奨学金関係・その他の掲示	R棟国際センター事務室
派遣留学・短期留学プログラム関係の掲示	R棟国際センター事務室
学内業者(食堂・テナント)関係の掲示	H棟西側(メインストリート沿い)
キリスト教センター・学生関係の掲示	ロゴスセンター南側

各種証明書の発行

証明書等の交付願と手数料

各種証明書は、証明書自動発行機で発行するか、取扱窓口で申し込んでください。各種取扱手数料については、以下を参照してください。

●証紙券売機運用時間

C棟3階ロビー	月～金 9:00～17:00
R棟2階	月～金 9:00～17:00

●証明書自動発行機運用時間

C棟3階ロビー	月～日 8:00～22:00
---------	----------------

証明書自動発行機

種類	料金	取扱	備考
在学証明書(和文・欧文*)	200円	証明書自動発行機	卒業後は、証明書自動発行機の利用不可
卒業見込証明書(和文・欧文*)※1	200円		
学業成績証明書(和文)	200円		
学業成績証明書(欧文*)	500円		
健康診断証明書	200円		卒業後は発行不可
学校学生生徒旅客運賃割引証(学割証)	無料		

窓口発行

種類	料金	取扱	備考
卒業証明書(和文・欧文*)※2	200円	教務課	証紙券売機で証紙を購入し 申請用紙に貼付
単位修得証明書(和文)	200円		
単位修得証明書(欧文*)	500円		
単位修得見込証明書	200円		
留学成績証明書(和文・欧文*)※3	無料		
国際科目群証明書(和文・欧文*)※3	無料		
在学期間証明書(和文・欧文*)	200円		
満期退学証明書(和文・欧文*)	200円		
副領域履修証明書(人類学・言語科学)	200円		
受験調査書	500円		
教員免許状取得見込証明書	200円		
学力に関する証明書(教免用)	200円		
学芸員資格証明書	200円		
司書講習修了証明書	200円		
学芸員資格取得見込証明書	200円		
学校図書館司書教諭資格取得見込証明書	200円		
司書講習修了見込証明書	200円		
単位修得証明書(資格用)	200円		

その他手数料など

種類	料金	取扱	備考
追試験手数料	500円／1科目	教務課	証紙券売機で証紙を購入し 申請用紙に貼付
学生証再交付手数料	1,000円	学生課	
学生バッジ再交付手数料	200円		
通学証明書（通学定期券発行用）	無料		――

*欧文とは原則英文を指します。

(和文・英文以外の証明書の作成については、教務課にお問い合わせください)

※1 理工学部の情報技術専修コース登録者はコース修了見込証明書として使用可。

※2 理工学部の情報技術専修コース修了者はコース修了証明書として使用可。

※3 学業成績証明書と一緒に申し込みしてください。



自動証明書発行機



証紙券売機

授業と試験

本学ではクォーター制(いわゆる“4学期制”)を導入しています。

学部の授業は、原則として定期試験を含む8週間を1クォーターとする4学期制のもとで行います。

年度により日程に多少の差は生じますが、各クォーターの授業期間はおおよそ以下のようになります。

春学期	第1クォーター	4月上旬～6月上旬
	第2クォーター	6月中旬～8月上旬
秋学期	第3クォーター	9月中旬～11月初旬
	第4クォーター	11月中旬～1月下旬

授業時間帯は次のとおりです。

1時限	9:20～10:50
2時限	11:05～12:35
3時限	13:30～15:00
4時限	15:15～16:45
5時限	17:00～18:30

試験時間は次のとおりです。授業時間とは異なり、原則として1時限50分(ただし、理工学部科目は80分)ですが、科目によってはそれ以外の時間で試験を実施する場合もあります。

1時限	9:20～10:10(50分)	
2時限	10:35～11:25(50分)	
3時限	11:50～12:40(50分)	11:50～13:10(80分)
4時限	13:40～14:30(50分)	
5時限	14:55～15:45(50分)	14:55～16:15(80分)

● 授業科目の履修

1. 学業の成果は、修得単位数と成績評価で表されます。
2. 単位を修得するには、あらかじめ履修登録が必要です。
3. 履修科目の変更や追加は、所定の登録期間中しか認められません。
4. 所定の単位数を修得しなければ、4年間に在学しても卒業できません。

● 定期試験

1. 毎クォーター授業日程の終了後に行われます。
2. 単位修得には、定期試験を必ず受けなければなりません。
3. 集中講義の場合は、その講義の終了後の試験を必ず受けてください。
4. 定期試験の時間割表は、定期試験開始日の7日前までに *PORTA*(南山大学ポータル)の「試験時間割表」で発表します。土曜日や試験予備日にも試験が入る可能性があります。必ず *PORTA*を確認してください。
5. 試験場では、必ず学生証を机の上に提示してください。試験当日学生証を忘れた場合は、学生課で「定期試験受験資格証明書」の交付を受けて受験してください。
6. 答案には学部、学科、学生番号、氏名を記入してください。無記名の答案は、無効扱いになります。
7. 遅刻が認められるのは、試験開始後15分以内です。開始後15分間は退出できません。
8. 試験中の不正行為および不正行為と思われるまぎらわしい行為は、絶対行わないでください。不正行為と判断

された場合は、懲戒処分とします。追試験も同様です。
(学生生活(学生課)Webページ「南山大学における試験の不正行為に対する懲戒内規」参照)

その他、試験場では、すべて監督者の指示に従ってください。

● 出・欠席

1. 名古屋市営交通機関のストライキ、および「南山大学課外活動取扱要項第16条」による授業欠席による特別配慮を除き、どのような欠席も認められません。
2. 「南山大学授業科目履修規程第16条」により、欠席過多を適用する科目の欠席時数がその科目の授業総時数の3分の1を超えた場合、履修成績評価が「欠席過多(S)」による不合格となり、単位は与えられません。
3. 欠席過多を適用する科目については、履修要項あるいは講義概要に記載されています。
4. 欠席過多についての異議申し立ては、南山大学授業科目履修規程第21条「履修成績評価の疑問調査」により行なってください。

● 休講・補講等

休講・補講等は *PORTA*(南山大学ポータル)または教務課Webページで確認してください。

追試験

やむを得ない理由により、定期試験等を受験できない場合、当該授業科目の追試験を申請することができます。

●やむを得ない理由

天災、交通事故、病気、教育実習、介護等体験、就職試験、大学院入学試験、家族の死亡・危篤、交通機関の遅滞、大学が認めた研修、大学行事など

●追試験の申請および受験手続き

- 1. 追試験の申請および受験手続きについては、定期試験時間割発表時に教務課Webページにてお知らせします。
- 2. 定期試験については、各クォーターの所定の期日までに、集中講義や隔週開講などの授業科目については、当該試験日の翌日から数えて3日目（日曜、祝日および事務休業日を除く）までに右表の証明書を添えて、追試験受験許可願を提出してください。
- 3. 追試験を許可された学生は、所定の期間に受験手続（受験手数料として1科目500円の納入）をしてください。
- 4. 追試験の成績は、1割減点となります。

- 5. 教育実習、介護等体験、インターンシップ研修Ⅱ、愛知学長懇話会単位互換事業、豊田工業大学との単位互換事業による他大学開講科目の定期試験受験のために欠席した場合、受験手数料と成績の1割減点が免除されます。
- 6. 定期試験に代わるレポート提出が不可能な場合も追試験受験許可願を提出してください。その他詳細については「南山大学試験規程」の第3章を参照してください。

欠席理由	提出証明書
天災	罹災証明書
交通事故	事故証明書
病気	医師の診断書
就職試験	企業の受験証明書
その他やむを得ない場合	理由書

成績発表および成績疑問調査

成績発表は年2回です。

第1クォーター、第2クォーター、春学期開講の授業科目の成績発表は9月、第3クォーター、第4クォーター、秋学期、通年開講の授業科目の成績発表は3月です。

なお、授業科目履修規程第21条により、発表された成績について、次のケースについては成績疑問調査を申請することができます。

- ・ 授業に出席していたにもかかわらず成績が「S」（欠席過

- 多）となっている。
 - ・ 定期試験を受験した・レポートを提出したにもかかわらず成績が「X」（試験欠席）となっている。
 - ・ 成績評価について、疑問がある場合（ただし、疑問点について根拠が明確であること）。
- 申請期間は原則、成績発表日から1週間以内ですが、休日等で締切日がずれる場合があるので、締切日は必ず教務課Webページで確認してください。

卒業



卒業式

●卒業および学位授与の条件

- ・南山大学学則第21条の条件を満たしていること。
- ・学部学科所定の単位については、南山大学学則第13条および各学部学科の履修要項(授業科目履修案内に掲載)を参照してください。
- ・3月に卒業できず、次年度春学期で上記の学位授与の条件を満たした場合は、9月期卒業となります。ただし、春学期成績発表日までに「卒業延期願(保証人と指導教員の署名、捺印が必要)」を提出することにより、卒業を3月期に延長することができます。願い出・取り下げ、ともに指導教員に相談のうえ、窓口に出してください。秋学期入学者は窓口を確認してください。なお、卒業延期の場合も学生納入金(授業料、施設設備費、後援会費)は必要です。

●学位の種類

「学士」

学部卒業者に授与される学位は「学士」であり、卒業学部により以下の専攻分野名が付記されます。

人文学部	人文学	Bachelor of Arts in Humanities
外国語学部	外国研究	Bachelor of Arts in Foreign Studies
経済学部	経済学	Bachelor of Arts in Economics
経営学部	経営学	Bachelor of Arts in Business Administration
法学部	法学	Bachelor of Arts in Law
総合政策学部	総合政策学	Bachelor of Arts in Policy Studies
情報理工学部	情報理工学	Bachelor of Science in Information Sciences and Engineering
理工学部	理工学	Bachelor of Science in Science and Technology
国際教養学部	国際教養学	Bachelor of Arts in Global Liberal Studies

窓口 教務課、学生課

休学

休学とは病気、留学その他の理由で、長期にわたり大学の学業を離れることです。南山大学学則第28条(学生生活(学生課)Webページ参照)により休学の願い出をすることができます。指導教員・保証人と相談のうえ所定の手続きを行ってください。

休学すると自動的に卒業年度が延期されます。

●休学の種類

「クォーター単位の休学」「学期単位の休学」「1年間の休学」の3種類があります。

●休学期間の上限(通算)

学部	通算4年
----	------

●休学の申請期限(2020年度)

学部	
第1クォーター休学	3月31日までに申請
第2クォーター休学	6月4日までに申請
第3クォーター休学	9月11日までに申請
第4クォーター休学	11月16日までに申請

※授業日の関係で毎年申請期限が違いますのでご注意ください。

●在籍料

休学期間中は、授業料等の学生納入金が全額免除されます。但し、在籍料として、1クォーターにつき25,000円の納入が必要です。

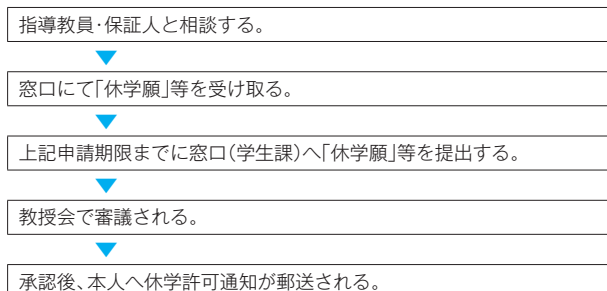
●提出書類

「休学願」「保証人の理由書」、「診断書(病気の場合)」

●注意事項

- ・1年生の春学期からの休学は、特別な事由がない限り認められません。
- ・「1年間の休学」をする場合、通年科目の継続登録が可能な場合があります。詳しくは、休学前に教務課で確認してください。

●手続きの流れ



復学

休学期間が終了すると、大学より休学期間終了通知および復学に必要な諸手続きに関する通知を送付します。同通知書に従って必要な手続きを行ってください。

退学

病気その他の理由により、やむを得ず退学する場合は、南山大学学則第30条(学生生活(学生課)Webページ参照)により退学を願い出ることができます。指導教員・保証人と相談のうえ、所定の手続きを行ってください。

退学の日付は、申請した各クォーター末日となります。

また、南山大学学則第31条、第34条および南山大学授業科目履修規程第27条(学生生活(学生課)Webページ参照)に該当する場合、退学を命ずることがあります。

●退学の申請期限(2020年度)

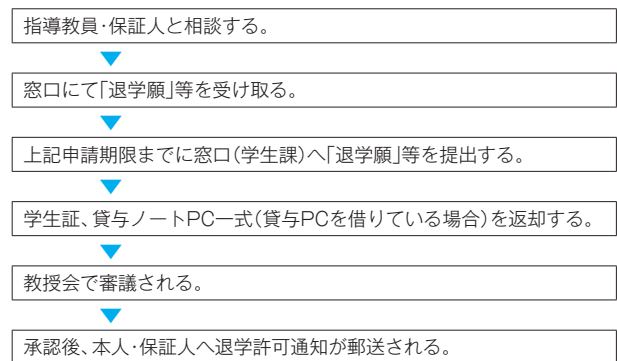
学部	
第1クォーター末退学	6月4日までに申請
第2クォーター末退学	9月11日までに申請
第3クォーター末退学	11月16日までに申請
第4クォーター末退学	3月31日までに申請

※授業日の関係で毎年申請期限が違いますのでご注意ください。

●提出書類

「退学願」「保証人の理由書」、「診断書(病気の場合)」

●手続きの流れ



再入学

退学者は、再入学を志願することができます。再入学に関しては、南山大学学則第26条および南山大学学生懲戒規程第12条(学生生活(学生課)Webページ参照)に定められています。

学生納入金（一旦納入された納入金は返還しません。）

- ・学生納入金の納入方法は各自が登録した口座からの引落しです。
- ・引落日(右記のとおり)は、案内はがきでもお知らせします。引落日の前日までに必ず入金を済ませておいてください。引落日当日に入金された場合、引落しができないことがあります。

2020年度学生納入金引落日

学期	引落日
春学期	4月13日(月)
秋学期	9月28日(月)

人文学部・外国語学部 (英米学科除く)・経済学部・経営学部・法学部・総合政策学部(春学期入学者)・国際教養学部	年次	徴収時期	授業料	施設設備費	後援会費	同窓会費	合計
	2009~2016	春学期	359,000	105,000	10,000	0	474,000
		秋学期	359,000	105,000	10,000	0	474,000
	2017~2019	春学期	359,000	105,000	10,000	3,500	477,500
		秋学期	359,000	105,000	10,000	3,500	477,500
	2020	秋学期	359,000	105,000	10,000	3,500	477,500

外国語学部 (英米学科)	年次	徴収時期	授業料	施設設備費	実習費	後援会費	同窓会費	合計
	2009~2016	春学期	359,000	105,000	0	10,000	0	474,000
		秋学期	359,000	105,000	0	10,000	0	474,000
	2017~2018	春学期	359,000	105,000	4,500	10,000	3,500	482,000
		秋学期	359,000	105,000	4,500	10,000	3,500	482,000
	2019	春学期	359,000	105,000	9,000	10,000	3,500	486,500
		秋学期	359,000	105,000	9,000	10,000	3,500	486,500
	2020	秋学期	359,000	105,000	9,000	10,000	3,500	486,500

総合政策学部 (秋学期入学者)	年次	徴収時期	授業料	施設設備費	後援会費	同窓会費	合計
	2009~2015	春学期	359,000	105,000	10,000	0	474,000
		秋学期	359,000	105,000	10,000	0	474,000
	2016	春学期	359,000	105,000	10,000	3,500	477,500
		秋学期	359,000	105,000	10,000	0	474,000
	2017~2018	春学期	359,000	105,000	10,000	3,500	477,500
		秋学期	359,000	105,000	10,000	3,500	477,500
	2019	春学期	359,000	105,000	10,000	3,500	477,500
		秋学期	359,000	105,000	10,000	3,500	477,500

理工学部 (情報理工)	年次	徴収時期	授業料	施設設備費	後援会費	同窓会費	合計
	2009~2016	春学期	409,000	105,000	10,000	0	524,000
		秋学期	409,000	105,000	10,000	0	524,000
	2017~2019	春学期	409,000	105,000	10,000	3,500	527,500
		秋学期	409,000	105,000	10,000	3,500	527,500
	2020	秋学期	409,000	105,000	10,000	3,500	527,500

※休学、再入学、編入学・転入学、転部・転科等により取扱いが異なる場合がありますので、ご注意ください。

納入についての注意

- ・ 学生納入金は、学期毎の納入となります(クォーター毎の納入ではありません)。
- ・ 引落しの口座を変更する場合は、速やかに学生課に申し出てください。ただし変更を希望する学期引落日の6週間前までに口座変更の手続きを完了されない場合、翌学期からの口座変更となる場合があります。
- ・ 所定期日までに納入されなかった場合は、南山大学学則第31条により退学を命ずることがあります。
- ・ 第2クォーター、第4クォーターの休学を申請した場合など、申請日によっては所定納入額全額が引落されることがあります。この場合、後日過納分を登録口座に返還します。

延納

延納：引落日までに納入が困難な場合は、延納が認められることがあります。

延納願提出期間の公示時期	
2020年度秋学期分	2020年7月
2021年度春学期分	2021年1月

延納希望者は、窓口で「延納願」を受け取り、保証人と連名で指導教員の承認を受け、「学納金公示」に記された申請期間内に提出してください。

納入期限		
延納	春学期分	7月30日(木)
	秋学期分	1月26日(火)

減免について

1クォーターにつき1科目以内の履修登録をした学生は「1科目登録者」として授業料・施設設備費および後援会費の2分の1が減額されます。対象者は8学期(4年)まで在学した学生で9学期以降に1科目以内の履修登録をした学部生です。なお、この減免は一旦全額納入した後、該当金額が返還されます。学生納入金引落日には全額の納入が必要です。

休学中の学生納入金と在籍料について

休学者は、学生納入金が全額免除されます。ただし、在籍料として1クォーターにつき25,000円の納入が必要です。

高等教育の修学支援新制度について(標準修業年限内の在学生対象)

南山大学は、2020年度からの高等教育の修学支援新制度について、機関要件の確認申請を行い、2019年9月20日付で、文部科学省より対象校として認定されました。

同制度に関しましては、申込制となっており、申込手続きを行わなければ支援を受けることはできません。同制度による支援を希望される場合は、説明会(毎年春および秋に開催)への参加および申込手続きを行ってください。

● 支援内容

「授業料の減免※」および「給付型奨学金の支給」

支援内容		第Ⅰ区分	第Ⅱ区分	第Ⅲ区分
授業料減免 (年額)		700,000円	第Ⅰ区分の2/3	第Ⅰ区分の1/3
給付型奨学金 (月額)	自宅通学	38,300円	25,600円	12,800円
	自宅外通学	75,800円	50,600円	25,300円

【第Ⅰ区分】本人と生計維持者の市町村民税所得割が非課税であること

【第Ⅱ区分】本人と生計維持者の支給額算定基準額の合計が100円以上25,600円未満であること

【第Ⅲ区分】本人と生計維持者の支給額算定基準額の合計が25,600円以上51,300円未満であること

奨学金

南山大学独自の奨学金制度により学生生活をサポートします。留学に関する奨学金もありますので、P.34を参照してください。また、日本学生支援機構・地方公共団体および民間の奨学金も取り扱っています。

〈給付型〉

●経済的に修学が困難な場合の奨学金(2019年度実績) ※出願必要

奨学金名	対象学年	金額・人数		備考
南山大学給付奨学金	全学年	第1種100万円	第1種8名、第2種44名	説明会(5月～6月開催予定)への参加が必要。毎年、出願者の中から一定の成績を修めていることを条件として、経済的困窮度の高い学生を採用。
南山大学友の会給付奨学金	1年生	第2種 50万円	第1種2名、第2種9名	
南山大学創立50周年記念奨学金	全学年	第1種 70万円 第2種 35万円	第1種2名、第2種6名	日本学生支援機構奨学金(緊急採用・応急採用)または南山大学随時奨学金を家計急変等により前年度に貸与された学部学生が対象。毎年、出願者の中から一定の成績を修めていることを条件として、経済的困窮度の高い学生を採用。
南山大学同窓会給付奨学金	卒業年次生	第1種100万円 第2種 50万円	第1種2名、第2種6名	説明会(5月～6月開催予定)への参加が必要。毎年、出願者の中から一定の成績を修めていることを条件として、経済的困窮度の高い学生を採用。

●南山大学奨励奨学金(成績、スポーツ等の優秀者への奨学金) ※出願不要

奨学金名	金額(人数)	備考
南山大学奨励奨学金(学業成績)	200,000円(32名以内/年)	学業成績優秀者より選考
南山大学奨励奨学金:個人(学術・文化・スポーツ)	300,000円(指定なし)	学術・文化、スポーツ分野で特に顕著な成績を挙げた個人・団体より選考
南山大学奨励奨学金:団体(学術・文化・スポーツ)	500,000円(指定なし)	

●民間奨学金制度・地方公共団体奨学金(貸与・給付) ※出願必要

榎山奨学財団、横山育英財団、大幸財団、三菱UFJ信託奨学財団、春秋育英会、中村積善会、岐阜県教育委員会など

〈貸与型〉

●日本学生支援機構奨学金(入学後に申込可能、毎年4月に説明会実施) ※出願必要

奨学金名	金額		返還	備考
日本学生支援機構奨学金 第一種(無利息)	学部生	2017年度以前入学者	3万円 もしくは 自宅5.4万円 自宅外6.4万円から選択	卒業後に返還 経済困窮度・成績で選考 緊急時の採用もあり
		2018年度以降入学者(編入学除く)	2万円、3万円、4万円 もしくは 自宅5.4万円 自宅外5万円、 6.4万円から選択	
日本学生支援機構奨学金 第二種(有利息)	2万、3万、4万、5万、6万、7万、8万、9万、10万、11万、12万円から選択		卒業後に返還	

●南山大学随時奨学金(不測の事態に対応) ※出願必要

奨学金名	金額(人数)	返還	備考
南山大学随時奨学金(有利息)	授業料、施設設備費、LL実習費相当額(100名以内/年)	卒業後に返還	経済困窮度・成績で選考

教育ローン

●国の教育ローン(日本政策金融公庫)

入学時、在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。詳しくは、下記へお問い合わせください。

教育ローンコールセンター [Phone 0570-008656](tel:0570-008656)
[Phone 03-5321-8656](tel:03-5321-8656)

●民間の提携教育ローン

詳しくは、学生課にお問い合わせください。

学割証

学生旅客運賃割引証（以下学割証という）の制度は、学生の権利として使用することを前提としたものではなく、学生の修学上の経済的負担を軽減し、学校教育の振興に寄与することを目的として実施されているものです。学割証により普通運賃が2割引となります。

学割証は、旅客鉄道株式会社（JR）を利用して、片道100 kmを

超える区間を以下の事由で旅行する場合に限り、使用が認められます。

●学割証の発行条件

1. 休暇、所用による帰省
2. 実験実習などの正課の教育活動
3. 大学が認めた特別教育活動または体育・文化に関する正課外の教育活動
4. 就職または進学のための受験等
5. 大学が修学上適当と認めた見学または行事への参加
6. 傷病の治療その他修学上支障となる問題の処理
7. 保護者の旅行への随行

●学割証の発行場所

C棟3階の証明書自動発行機で発行してください。（発行には学生証が必要です）

●学割証使用についての注意

1. 学割証を携帯した本人に限り使用できます。
2. 有効期限は発行日より3ヵ月間です。

学割証を不正に使用した場合には、3倍の運賃が徴収されるほか、南山大学が学割証の発行停止の処分を受けるおそれもあります。他の学生に迷惑をかけることになりかねませんので、その使用については十分に注意してください。

不正使用例

1. 他人名義の学割証を使用して、乗車券を購入・使用する
2. 名義人が乗車券を購入して、他人に使用させる
3. 有効期限を過ぎた学割証で乗車券を購入・使用する
4. 学割証をコピーして使用する

団体旅客割引証

クラス・ゼミでの合宿・旅行、課外活動団体での合宿・遠征などでJR線を利用する場合、最大5割引となる割引制度があります。

●申込条件

1. 8名以上の団体であること
2. 本学の教員が引率すること
3. 発着駅が同じであること
4. 別途、集合・行事許可申請書を提出していること

●手続方法

1. 旅行会社（みどりの窓口等）で所定用紙を受け取る。
2. 大学の取扱窓口で証明を受ける。
3. 出発日の14日前までに旅行会社で申し込む。

窓口 学生課

定期券

【名古屋市交通局（市バス・地下鉄）】

通学経路に限定されない希望区間・経路の「学生定期券」は、学生証提示のうえ、名古屋市交通局サービスセンターなどで購入してください。詳細は、名古屋市交通局Webページを参照してください。なお、他社との連絡定期券については、大学発行の通学証明書が必要になります。

【その他交通機関】

大学発行の通学証明書と学生証を提示のうえ、各交通機関の定期券発行場所で購入してください。

通学証明書の発行は学生課（C棟2階）で行います。顔写真をお持ちください。

●実習用通学定期券

教育実習やインターンシップ実習を行う場合、自宅から実習先までの「実習用通学定期券」を発行することができます。

詳しくは教育実習、インターンシップ実習のガイダンスで説明があります。

発行には、各交通会社にて、承認が必要になり、時間がかかります。

遅くとも実習1ヶ月前までに申し出てください。

窓口 学生課

自動車通学

学生の「自動車通学」は禁止です。自動車で通学し、道交法違反行為（違法駐車等）あるいは迷惑駐車等（住宅地路上、店舗駐車場等）を行った場合は、大学として厳しく対応します。

健康上の理由等で自動車通学が必要な場合は、学生課に申し出てください。



自動二輪車（原付を含む）・自転車通学

自転二輪車（原付を含む）、自転車で通学する場合、大学への申請は不要です。西門駐輪場、図書館南駐輪場、R棟西バイク置場（自動二輪車、原付のみ駐輪可）をご利用ください。

●注意事項

使用しなくなった自動二輪車や自転車を駐輪場へ放置しないでください。また、キャンパス内では二輪車や自転車は乗らず、押して歩いてください。

通学マナー

地域住民の迷惑とならないよう、車道・歩道を広がっての歩行や無理な道路横断・信号無視、歩きながらのデバイス操作など絶対にしないでください。

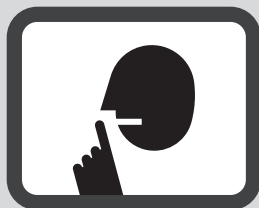
上記のような行為は、交通事故につながり、自分はもちろん多くの方に迷惑をかけることになります。また、住宅街の中を大きな声で話しながら集団で歩くことがないようにし

てください。

大学生として、また社会を構成する一員として、マナーを守って良識ある行動をしてください。

八事日赤駅、名古屋大学駅を利用する場合は山手通門を
通って通学してください。

通学マナー 7か条



大声で話さない



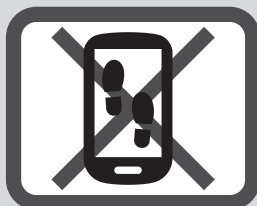
推奨ルートを使おう



交通ルールを守ろう



道路いっぱいに
広がって歩かない



歩きスマホは厳禁



歩きタバコ、
ゴミのポイ捨ては厳禁



近隣住民・
他者への配慮を

学生ロッカー

本学では、学生に1人1台のロッカーを整備しています。

●ロッカースペース(2020年度)

人文学部	体育センター 地下1階
外国語学部	K棟 地下2階
経済学部	体育センター 地下1階
経営学部	体育センター 地下1階
法学部	Q棟(南棟) 1階
総合政策学部	Q棟(南棟) 1階
理工学部	S棟 2階
国際教養学部	Q棟(南棟) 1階

- ・各自に割当られたロッカー番号は、ロッカースペースの掲示で確認してください。
- ・学年によって、ロッカースペースではなく、学生セミナー室内のロッカーを割当ることがあります。詳細は、指導教員または学部事務室に確認してください。

●学生ロッカー 利用上の注意

1. 利用目的

学生生活に必要な荷物の保管場所として使用する

2. 利用時間

学生ロッカーのある建物の開放時間に準ずる

3. 注意事項

- ・快適かつ安全に利用するために、以下のことに注意する
- ・自分に割当てられたロッカー以外は使用しないこと
- ・各自で鍵(南京錠、ダイヤルキー等)を用意し、盗難に注意すること(収納物品の盗難及び損害が生じた場合において、大学は一切の責任を負わないものとする)
- ・貴重品は置かないこと
- ・「学生証」は常に携帯し、警備員巡回時等に提出を求められた時には必ず提示すること
- ・ひとけの少ない時間帯においては、自己の安全に十分注意すること
- ・ロッカーは清潔に保つこと
- ・学生ロッカーの利用期間終了日の通知があった場合は、定められた期日までに収納物品を撤去し、原状回復すること(利用期間終了後に残された荷物は、本人の承諾なく廃棄する)

学生セミナー室

学科毎に学生セミナー室があります。(理工学部を除く)
学生セミナー室の利用については、指導教員または学部事務室に確認してください。

●学生セミナー室 利用上の注意

1. 利用目的

学生セミナー室は教育と研究のためだけに使用し、目的から逸脱しないこと

2. 利用時間

原則として(月～土)8時～21時とする

※日曜日や授業期間外に利用する場合は、必ず指導教員に申し出て許可を得ること

3. 注意事項

- ・快適かつ安全に利用するために、以下のことに注意する
- ・入口ドアはオートロックのため、テンキー暗証番号を忘れないこと
- ・「学生証」は常に携帯し、警備員巡回時等に提出を求められた時には必ず提示すること
- ・盗難防止のため、室内に私物を放置しないこと(私物の盗難及び損害が生じた場合において、大学は一切の責任を負わないものとする)
- ・学生セミナー室内のロッカー利用については、施錠等の管理を自己責任において行うこと
- ・ロッカーは清潔に保つこと
- ・学生ロッカーの利用期間終了日の通知があった場合は、定められた期日までに収納物品を撤去し、原状回復すること(利用期間終了後に残された荷物は、本人の承諾なく廃棄する)
- ・ひとけの少ない時間帯においては、自己の安全に十分注意すること
- ・室内を清潔に保つこと

4. 禁止事項

以下のことは厳禁とする

- ・部外者に暗証番号を教えること
 - ・酒類の持ち込み、飲酒、喫煙
 - ・ガス器具、火事が起こりやすい電熱製品などの使用
 - ・大声で騒ぐなど、他に迷惑をかける行為
- ※上記に加え、各学部・学科で定めている注意事項を遵守し、利用すること

学生ロッカー・学生セミナー室の利用上の定めに違反した場合は、利用を中止する場合があります。

2

キャンパスライフ

マンション・アルバイト

南山大学学生専用マンション
民間のアパート・マンション
アルバイト

多文化交流

海外派遣留学制度
短期留学プログラム
国際学生宿舎
多文化交流ラウンジ
ジャバンブラザ
奨学金

課外活動案内

課外活動の概要
集合・行事の許可申請
印刷物の配布・貼紙・立看板について
課外活動団体宛郵便物
課外活動登録団体
課外講座
南山エクステンション・カレッジ

保健センター(保健室・学生相談室・特別修学支援室)

保健室
学生相談室
特別修学支援室
健康診断
AED(自動体外式除細動器)
予防接種
インフルエンザ

保険・ハラスメント

保険
見舞金・弔慰金・慰問金
ハラスメントへの対応

キャリア支援

キャリアサポートプログラム
インターンシップ
就職の指導と斡旋

防災

防災

注意事項

学内で盗難等の事故に遭ったら
遺失物と盗難防止
飲酒について—南山大学の基本方針と注意喚起—
喫煙
学内施設の保全と防災・防火
地域住民等への迷惑行為の禁止
キャンパスマナー
「悪徳業者」「マルチ商法」による被害に遭わないために
悪質な宗教団体からの勧誘
学生ローン・クレジットカード使用の注意
ひとり暮らしに関する注意
薬物使用に関する注意
海外へ渡航する際の注意
ソーシャルネットワークサービス(SNS)を利用する際の注意

南山大学学生専用マンション

南山大学学生専用マンションは、遠隔地からの入学者のために、入学時の経済的負担を少なくし、快適な学生生活を送ることができるよう援助するために設けられた施設です。

学生マンション

マンション名	家賃
四ツ谷の里(女性専用)	54,000円(共益費を含む)

●居住にあたっての注意事項

居住者は「入居の手引き」を熟読して入居規則を順守してください。また、炊事、洗濯、掃除、健康管理や生活費の管理をはじめ隣室との良好なコミュニケーションさらには地域住民としてのゴミ出しのルール、駐輪マナー、夜間の静粛など他の寮生や近隣住民と気持ちよく生活するために幅広く自己責任がかかってきます。一人暮らしは自己管理が基本と心がけてください。

窓口 学生課

民間のアパート・マンション

アパート・マンションの契約は各自の責任で行ってください。次の業者でマンションの紹介をしています。

(株)学生情報センター
〈本店〉 Phone 0120-749-114

アルバイト

アルバイトの紹介を受ける際には、学生証(外国人留学生はパスポートの資格外活動許可証印、または、在留カードの資格外活動許可欄)を提示してください。

また、(株)ナジック・アイ・サポートのアルバイト紹介システムにより、Webページおよび携帯電話より、アルバイト情報を閲覧することができます。

学生アルバイト情報ネットワーク

<http://www.aines.net/nanzan-u>

※利用には大学の交付するメールアドレスが必要です。

●アルバイトをする場合の注意事項

1. 学業に支障をきたさないよう必要最小限とすること。
2. 大学生に相応しい職種内容を選ぶこと。
3. 仕事の内容を理解し、自己の能力に応じたものを選ぶこと。
4. 労働基準法などの適用を受けるため雇用先と労働契約を交わすこと。

アルバイトの被害が発生しています。アルバイトは慎重に選んでください。大学紹介以外のアルバイトの中には高い賃金と引き換えに危険な仕事を伴うもの、学生に相応しくないもの、不当な労働条件のものも含まれており、家庭教師や塾の講師での賃金不払いも発生しています。

また、家庭教師の派遣を行うサークル・企業の中には、家庭教師の派遣と同時に、高額教材の販売を目的とする団体もあり、派遣先との間でトラブルを起こすケースがあります。このような団体には十分注意してください。

さらに、南山大学生と名乗って夜間等に個人宅へ電話し家庭教師の斡旋を行うことは、電話先へ迷惑をかけることが少なく、苦情も多発しています。大学生のアルバイトとして相応しくない業務と認識してください。

●厚生労働省

「アルバイトを始める前に知っておきたい7つのポイント」

<http://www.check-roudou.mhlw.go.jp/parttime/>

●留学生のアルバイト

留学生のみなさんが持つ在留資格では、日本において報酬を受ける活動に従事することはできません。アルバイト等、報酬を伴う活動を行う場合には、入国管理局長による資格外活動許可を受ける必要があります。この許可を得て初めて定められた範囲でアルバイトをすることができます。(アルバイトができる時間は週28時間までです。また、大学が決めた長期休暇(夏休み・冬休み・春休み)の間のアルバイトは1日8時間までです。)許可を取得せずにアルバイト活動を行うことは法律違反です。〔出入国管理および難民認定法第19条〕

アルバイトをするときは、留学生として十分に自覚を持ち、本来の目的である「勉学」の妨げにならない範囲で行ってください。

海外派遣留学制度

海外留学を実現するためには、実現したい内容に合わせて留学計画を立てることが必要です。南山大学には、世界中に交換協定校があります。また、その国で許可されている4年制の大学であれば、世界中のどこでも留学ができます。留学先大学や大学院で修得した単位に関しては本学開講科目の単位としての認定を申請して、留学期間を合わせて4年間で卒業を目指すことも可能です。さらに、学生の海外留学を奨励し、経済的援助を行う目的で、派遣留学奨学金制度を設けています。各自で責任を持って情報収集をし、自分の目的やレベルに合った留学計画を立て、あなたの国際力を磨くプランを作ってみましょう。国際センター事務局では随時情報を提供し、相談も受け付けています。

短期留学プログラム

中・長期留学制度以外にも、各学部で授業の一環として開講されている海外研修や、長期休暇を利用した海外短期留学プログラムが多数用意されています。各自の語学レベル、興味の対象、学習計画、将来設計に応じてプログラムを選択することができます。プログラムごとにカリキュラムの特色は異なりますが、いずれも充実した語学授業や多様な文化体験が組み込まれており、グローバルな視野を培うことが可能です。国際センター主催のプログラムの案内は、履修要項、PORTAのお知らせ、国際センター事務局のWebページで随時紹介しています。



国際学生宿舍

南山大学交流会館

南山大学交流会館は、単なる学生寮ではなく多彩な文化を持つ学生たちによる共同生活を通して、教室では体験できない生きた異文化交流を学ぶことを目的とした施設です。山里交流会館と名古屋交流会館があります。

●入居に関する注意

1. 入居者は、原則として本学の学生に限ります。
2. 居住期間は原則として次の通りです。
 - ・在留資格「留学」、「家族滞在」などの外国人学生：最長4年間
 - ・上記以外の学生（日本人学生を含む）：最長2年間

●入居時期

原則として4月と9月です。掲示・PORTAで募集します。

●料金・設備

山里交流会館	月額30,000円（光熱水費を含む）8畳相当
名古屋交流会館	月額40,000円（光熱水費を含む）6畳相当



名古屋交流会館

UR千代が丘住宅

（独）都市再生機構の管理するUR千代が丘住宅の一部を国際学生宿舍として利用しています。留学生と日本人学生が共同生活をするシェアハウスタイプの宿舎で、国際交流、地域交流を目的としています。

●入居資格者

本学学生

●入居期間

最長1年間 *更新申請（審査あり）による延長可能

●入居時期

原則として4月と9月

●料金・設備

月額35,000円（光熱水費を含む）

入居者募集については、PORTAにてお知らせします。



フォワイエ南山

フォワイエ南山は留学生を主とする国際学生宿舎で、家具、家電付のワンルームタイプの宿舎です。

●入居期間

原則として1年間 *更新申請（審査あり）による延長可能

●入居時期

原則として4月と9月 *空き状況により途中入居可能

●料金・設備

入居費25,000円（入居時のみ支払い）

月額60,000円（光熱水費を含む）

入居者募集については、PORTAにてお知らせします。

多文化交流ラウンジ

2017年9月にR棟2階に開設された多文化交流ラウンジ(愛称:Stella)は、使用言語を制限せず、留学生を含めた南山生が自由に多文化交流を実現することを目的としています。ラウンジではNanzan International Ambassador (NIA)と呼ばれる学生スタッフにより様々なイベントが企画され、学生団体とのコラボレーション企画や留学生による国紹介など気軽に参加できるものから、トークセッションなどアカデミックなものまで幅広く開催されます。自分自身の興味、関心に合ったイベントに参加したり、留学生と友達になるために立ち寄りたり、まずは自分に合った、多文化交流の一步を踏み出してください。また、NIAは、国際力を高めるだけでなく、イベント企画を通したファシリテーターとしてのスキルを身に付けることができます。NIAの募集やイベント情報はPORTAのお知らせ、国際センターWebページで随時紹介されています。



ジャパンプラザ

ジャパンプラザは、日本語だけで交流を深めるスペースです。留学生が教室以外の場所で、日本人学生と日本語で定期的に交流できるようにと開設されました。教室で学ぶ日本語だけでなく、日本人が日常的に話す日本語にも触れられます。また、日本人学生にとっては母語である日本語で留学生と交流できるとともに、“日本語を教える”ことの面白さや難しさも体験することができます。

奨学金

●派遣留学生

南山大学派遣留学奨学金制度

本学学生が学則第29条の定めによって、外国の大学に留学する場合には、奨学金(給付・貸与)を受けることができます。奨学金制度の詳細は、年度によって変わることがありますので、国際センター事務室で最新の情報を確認してください。

学外団体等の留学奨学金制度

国際センター事務室で把握した情報については、随時紹介しています。

●私費外国人留学生

南山大学外国人留学生奨学金

本学で学ぶ外国人留学生に対し、奨学金を給付し、学業達成に資することを目的とした制度です。

学外団体の奨学金制度

文部科学省・大幸財団・イノアック国際教育振興財団・名鉄国際育英会・ロータリー米山記念奨学会・平和中島財団・市原国際奨学財団・日本ガイン留学生基金・日本特殊陶業海外留学生奨学基金・共立国際交流奨学財団・大塚敏美育英奨学財団・服部国際奨学財団・豊田通商・三菱商事・横山国際奨学財団・朝鮮奨学会などからの奨学金情報を提供しています。

課外活動の概要

課外活動は、学生の皆さんが教養と自律性を養い、社会性を身につけ、お互いに啓発しあう場として、大きな教育的意義があるものと考え、その健全な育成に努めています。もとよりそれは本学の教育目的を達成するために行われるものであり、学生部(学生部長、学生部次長等)、担当教員、クラブ部長および学生課の助言と指導を得た規律ある活動であることが大切です。また、それらの活動は正課との適切な調和に意を用いつつなされることが大切で、学業の達成を妨げるものであってはなりません。

● 本学における課外活動は、およそ次の3種に分けることができます。

1. 大学祭・上南戦など全学的な規模でなされる行事
2. ゼミナール単位でなされる活動
3. 課外活動諸団体による活動

● 全学的な行事

大学祭



毎年11月上旬には、課外活動の成果を発表する目的で大学祭が開催されます。期間中は、各クラブ、ゼミの発表、展示会、また地域団体等との交流が行われ、各種の模擬店も賑やかに立ち並び、連日構内いっぱいに若いエネルギーが充満します。また、期間中には同窓会によるホームカミングデーも催されます。



南山大学公認 体育会キャラクター「ライナンくん」

上南戦

上南戦とは、本学の姉妹校である上智大学との間で行われる「総合対抗運動競技大会」の通称で、7月に東京と名古屋で交互に開催されます。各クラブのOB・OGの方々にもお越しいただき、熱のこもった応援合戦が繰り広げられます。また、体育系のクラブだけでなく、文化系クラブの間でも上智・南山両大学の交歓会、演奏会などが催され、最も大きな年間行事の一つになっています。今年の第61回大会は南山大学で開催されます。



● 学部・学科所属の各ゼミナールが企画・実施する諸行事

代表的なものとしてゼミ合宿などがあります。ゼミ合宿は、正課に準じた学習を目的とするため、全員参加を原則としており、ゼミの担当教員が必ず同行して指導に当たります。

● 学生が中心になって組織する課外活動団体(大学公認団体)の諸行事

行事回数も参加者総数も非常に多く、また学生の皆さんの自律性・社会的協調性などを養う意味でも、大きな教育的意義をもっています。クラブ活動の健全な発展のために、クラブ部長制度と合宿・集合・行事の許可申請制度を採用しています。

《クラブ部長制度》

クラブ部員が希望する専任教員を学長がそのクラブの部長に委嘱し、各クラブが行う諸行事の計画と実施に適切な助言と指導を与えるという制度です。大学としても各クラブ部長にできるだけ行事に参加していただくよう依頼しています。





集合・行事の許可申請

課外活動団体として合宿や行事を行う場合は計画的に準備を行い、**遅くとも1週間前**までに届け出て、学生部長の許可を得てください。まず「**集合・行事許可申請書**」に申請団体名、責任者(主将または主幹)名、目的、日時、場所、参加予定人員などを記入し、クラブ部長の承認を得た上で、その申請書を窓口へ提出してください。学外の諸団体と共催で行事をする場合、後日トラブルが起こらぬよう、相手方と事前に十分協議しておいてください。

●緊急連絡先

学生課〔平日9:00~17:00〕

総合受付〔上記以外〕

052-832-3118

052-832-3891

印刷物の配布・貼紙・立看板について

課外活動などで各種の印刷物を発行または配布する場合、所定の申請書・届出書に必要事項を記入して申請してください。**課外活動取扱要項第2条**に反するものは受け付けません。

課外活動登録団体がポスターや貼紙を掲示する場合は、**責任者(氏名および学生番号)を明記の上**、掲示板に貼り出してください。掲示物や立看板を所定の場所以外に貼り出す必要のあるときは、事前に承認を得てください。

いずれも申請は、**遅くとも配布等の1週間前**までに行ってください。

課外活動団体宛郵便物

課外活動団体宛の郵便物はC棟2階ロビー内のメールボックスに届けます。

※個人宛郵便物は、取り扱いません。



課外活動登録団体

南山大学の学生であれば、課外活動団体に所属することができます。

● 体育系クラブ

[体育会所属クラブ]

団体名	クラブ部長
アイスホッケー部	青 木 清
アメリカンフットボール部	伊 藤 司
バドミントン部	畑 山 知 子
バレーボール部(男・女)	中 路 恭 平
バスケットボール部(男・女)	飯 田 祥 明
フェンシング部	鈴 木 達 也
ゴルフ部(男・女)	野 呂 昌 満
ハンドボール部(男・女)	榎 本 雅 記
柔道部	丸 山 雅 夫
準硬式野球部	中 村 和 彦
空手道部	岡 田 悦 典
剣道部	浅 石 卓 真
航空部	学生部預かり
硬式庭球部(男・女)	山 岸 敬 和
硬式野球部	西 岡 淳
弓道部(男・女)	中 裕 史
軟式庭球部(男・女)	宮 崎 浩 伸
応援団	丸 山 雅 夫
ラグビー部	林 田 雄 二
ラクロス部(男・女)	中 路 恭 平
陸上競技部	湯 本 祐 司
サッカー部	太 田 代 幸 雄
少林寺拳法部	水 留 正 流
ソフトボール部	宮 沢 千 尋
漕艇部	中 屋 宏 隆
水泳部	金 興 烈
卓球部(男・女)	岸 川 俊 太 郎
洋弓部(男・女)	森 田 貴 之
ヨット部	阪 本 俊 生
基礎スキー部	中 路 恭 平
トライアスロン部	陳 幹

[スポーツ系クラブ(公認団体)]

団体名	クラブ部長
合気道部	三 好 千 春
チャリーダース RUSTLES	上 田 薫
軟式野球同好会	永 田 智 成
鈴峰山歩会	阪 本 俊 生
サイクリングクラブ	沢 登 文 治
相生道部	吉 根 勝 美
テニス愛好会	南 川 和 充
BADOO!!	山 田 望
フィギュアスケート部	金 興 烈

[スポーツ系クラブ(準公認団体)]

団体名	クラブ顧問
Forty-LoveTennisTeam	吉 田 敦
ほーむベース	CROKER, Robert

● 文化系クラブ

[文化会所属クラブ]

団体名	クラブ部長
アメリカ民謡研究会	坂 井 博 美
美術部	平 田 周
演劇部	林 尚 志
ギターアンサンブル	中 村 督
ギター音楽研究会	西 森 晃
管弦楽団	RAJCANI, Jakub
観世会	林 雅 代
軽音楽部	石 川 良 文
広告文化研究会	岡 田 悦 典
N.A.Q.	青 柳 宏
落語研究会	林 順 子
南山大学写真クラブ FOCUS	野 口 博 史
吹奏楽団	土 屋 耕 治
裏千家茶道部	森 山 幹 弘
野外宗教劇	HERA, Marianus Pale
HelloMUSIC	青 柳 宏
茶道松尾流南山会	豊 島 明 子
表千家茶道部	原 田 直 枝
NK type S(軽音楽部)	野 呂 昌 満
和太鼓団体 咲楽	三 輪 ま ど か

[文化系クラブ(公認団体)]

団体名	クラブ部長
文学研究会	加 藤 隆 雄
アイセック	南 川 和 充
ボランティア・サークル	奥 田 太 郎
ドイツ文化研究会	林 田 雄 二
E.S.S.	HOWREY, John
NLD～法律学研究会～	平 林 美 紀
国際親善クラブ	太 田 代 幸 雄
漫画研究会	MANGGA, Stephanus
文化人類学研究会	藤 川 美 代 子
スペイン文化研究会	泉 水 浩 隆
聖歌隊 南山大学スコラ・カントールム	西 脇 良
スペイン語部	ESCANDON, Arturo
書道ベン字クラブ	森 田 貴 之
ダンスサークル PRIME	丹 羽 牧 代
ハンドベルクワイヤ	中 尾 陽 子
パイプオルガン・サークル	SUSAI, Raj
映画研究会	林 順 子
Multi Media Club	奥 村 康 行
ボランティアサークルTogether	POTTER, David M.
みなみやま	竜 橋 一 輝

[文化系クラブ(準公認団体)]

団体名	クラブ顧問
LLC	RAJCANI, Jakub
名古屋模擬国連	山 田 哲 也

● 委員会

委員会名	委員会顧問
体育会執行委員会	中 裕 史
文化会執行委員会	西 脇 良
大学祭運営委員会	(学 生 部 長)
卒業アルバム委員会	(学 生 部 長)
上南戦実行委員会	(学 生 部 長)

課外講座

会計士講座

大学で学ぶ学生の中には学部を問わず、税理士や公認会計士を志望する人が多くいます。その合格を果たすためには、カリキュラムにある会計関連科目の履修だけではとても充分とは言えず、個々人でハードな受験勉強を行う必要があります。そんな学生たちのためにあるのが『会計士講座』。同じ志を持つ学生たちが自主的に集まり、教員や先輩の指導を仰ぎながら情報交換や勉強会、試験前合宿などを行うというものです。実際にこの講座のOB・OGの中から何名もの資格取得者が生まれています。

これからの社会では会計プロフェッションは、専門職としてだけでなく、その資格を核としたマネジメントサービスや国際税務アドバイザーなど幅広い活躍が期待されています。試験は生易しいものではありませんが、目標を高く持つて合格を目指してください。

 経営学部事務室

法職特別課外講座

法学部では、正規の講義の他に、学部を問わず全学の学生・卒業生を対象とした、特別な課外講座を開設しています。通称「法職」と呼ばれるこの講座は、弁護士、裁判官、検察官になるための司法試験、法科大学院(法学既修者)入試、国や県庁・市役所の職員、あるいは裁判所の事務官や家庭裁判所の調査官となるための公務員試験、さらには司法書士などの資格試験、法学検定試験を目指す人のために課外授業を行う講座です。

1年生を対象とした「ベーシックコース」のほか、資格取得を目指す人のための「資格取得民法基礎コース」も開かれます。講座の担当者には、法学部・法務研究科の教員のほか、本学出身の弁護士や実務経験豊富な司法書士が含まれますので、徹底した実力の養成と人間的な触れ合いのもとで、「生ける法」を学ぶことができるはずです。

 法学部事務室

南山エクステンション・カレッジ

南山エクステンション・カレッジでは、学生向けの特別講座や、在学生のみでなく卒業生や一般の方を対象にしてコミュニケーション・キャリアアップ・ライフサポートという3部門で構成される公開講座、公開講演会等を実施しています。

講座や講演会の日程や詳細、申込み方法等についてはPORTAおよびパンフレットで案内します。

【2020年度 学生向け特別講座 開講予定】

- ・公務員試験対策講座
- ・教員採用試験対策講座
- ・エアライン就職対策講座
- ・秘書検定準1級対策講座

南山エクステンション・カレッジ事務室(L棟1階)

<http://office.nanzan-u.ac.jp/EXTENSION/>

E-mail: extension-s@nanzan-u.ac.jp

保健室

不規則な日常生活を送りがちな学生時代にこそ“よい生活習慣”を身に付けることが、生活習慣病の予防につながると考えます。

毎年の定期健康診断や平素の心身の健康管理を通じて、病気の予防、早期発見に努め、自己の健康管理をしていくことが大切です。保健室はそのためのサポートをしています。健康に関する資料(本・パンフレット等)、体脂肪計、血圧計なども設置しています。

●健康相談

日常生活の中で病院へ行くべきかどうかで迷う時や、自身の健康状態について疑問に思ったことなど、保健室ではいろいろな相談を随時受け付けています。

また、随時学校医による健康相談を行っています。講演等も企画していますので、ご利用ください。

●応急処置

学内で怪我をしたり、急に気分が悪くなった場合には、遠慮なく保健室で手当てを受けてください。必要に応じて病院を紹介するなど、緊急時に備え万全を期しています。

学生相談室

学生相談室とは、学生の皆さんが抱える様々な問題の解決策について、専門のカウンセラーがサポートする制度です。学業をはじめ、課外活動、対人関係、家庭、人生についての疑問や目標、将来の進路選択等について、ともに考え、よりよい解決策を見つけ出すための援助と助言をします。



メンタルヘルス相談

普段、人は誰でも悩みを抱えると、日常生活において次のような変化が起きることがしばしばあります。

例えば……

勉強や作業への集中力が下がる。

頭が回らなくなる。

何かするのが億劫になる。

人と話したくない。

ぐるぐる考え込んでしまう。

食欲が落ちる、もしくは増える。

寝つきが悪い、熟睡できない。

特定の場所に入れなくなる。

特定の場所に座っているのが困難になる。

メンタルヘルス相談では、あなたが抱えている悩みの内容の傾聴や検討と共に、これらの現象が緩和されることを目指した面接を行っています。精神科医を中心に無料で対応しています。お気軽にご相談ください。



特別修学支援室

修学に困難を持つ学生一人ひとりの実情に対応した学習環境を整えるための相談窓口を設けています(合理的配慮サポート含む)。

修学に関する支援方法を検討・提案します。

また、履修登録やキャリア形成に関する支援会、個別学習支援、ピアサポートグループの機会もありますので、是非ご利用ください。

保健センターの総合窓口は以下のとおりです。

保健室(D棟1階)

月曜日～金曜日 9:00～17:00

土曜日閉室。ただし、休暇中、大学行事日はこの限りではありません。

Phone: 052-832-3437

E-mail: nagoya-hoken@nanzan-u.ac.jp

健康診断

定期健康診断

毎年、3月下旬から4月初旬に実施される定期健康診断を必ず受けてください(南山大学学則および学校保健安全法の定めによる)。やむを得ない理由で受診できなかった場合は、4月下旬までに医療機関で検査を受け「健康診断書」を保健室へ提出してください。詳細はWebページあるいは保健室で確認してください。

健康診断を毎年受けていない人は、就職、大学院進学、留学、アルバイトなどに必要な「健康診断証明書」の交付がされません。

健康診断の結果照会には1ヵ月ほどかかります。Webページ上のPORTA(南山大学ポータル)の健康診断結果照会画面で必ず確認してください。

●健康診断証明書の発行

健康診断(身長・体重、胸部レントゲン、検尿、血圧、診察)を受けている人には、証明書自動発行機から証明書を発行します。1項目でも未検査があった場合、即日発行はできません。発行できない場合は、直接保健室へお尋ねください。

指定の用紙による健康診断証明書の発行が必要な方は、保健室にご相談ください。

AED(自動体外式除細動器)

AEDは心停止を起こした心臓に働きかけ、心臓の働きを戻すための機器です。

心停止が起きると全身に血液を送ることができなくなり、命を落とす可能性も考えられます。

心停止を起こした人が近くにいたら、救急車が到着するまで、AED、心臓マッサージ、人工呼吸等を適切に行うことが重要です。

AEDは一般市民の使用が認められています。本学においては学生、教職員、全員が1分以内にAED設置場所に到着し3分以内にAEDの操作することを目標に設置(巻末のキャンパスマップ参照)してあります。



●AEDの使用手順

1. 周囲の安全を確認する。
2. 傷病者の反応および呼吸の有無(胸と腹部の動き)を確認する。
3. 反応がなければその場で大声で叫んで周囲の注意を喚起する。
4. 救急通報(119番通報)とAEDの手配をする。
(119番通報で電話を通して指導を受けることができます)
AEDの収納ボックスは開けると音が鳴るので、AEDを取り出したら、収納ボックスの扉は閉めておく。
5. 傷病者に付き添っている者は、※胸骨圧迫を実施。
(胸骨圧迫は5cm～6cmの深さ、1分間のリズムは100回～120回。押したらしっかりと胸を元に戻す。胸骨圧迫を中断する時間を最小限にする(10秒以内)。呼吸の確認に迷ったらすぐに胸骨圧迫をする)
胸骨圧迫の役割の交代は1～2分おきが望ましい
6. AEDが到着したら、前胸部と側胸部にパッドを装着する。
蓋をあけると自動的に電源が入るタイプと電源ボタンを押すタイプがある。後者の場合はAED本体の右上あるいは下部中央にあるボタンを押す。
7. AEDの音声メッセージに従って操作する。
8. 電気ショックを行ったらただちに※胸骨圧迫を実施する。
9. 救急隊に引き継ぐまで、または傷病者に呼吸や目的のある仕草が認められるまで心肺蘇生を実施する。

※人口呼吸ができる場合は30:2で胸骨圧迫に人工呼吸を加える。

予防接種

最近、麻しん・風しんの流行が話題になっています。

海外からの持ち込み例も多く、日本での定期接種ワクチン(三種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風)ワクチン、麻疹風疹ワクチン、ポリオ、日本脳炎など)を自分が接種できているのかを母子手帳にて確認してください

●麻しん(はしか)

麻しんウイルスによって起こる感染症です。人から人へ感染します。感染力はきわめて強く、麻しんの免疫がない集団に1人の発症者がいると12～18人が感染するとされています。

感染して症状が出ない不顕性感染はほとんどなく、感染した90%以上が発症します。麻しんに伴い様々な合併症が見られ、全体では30%にも達するとされます。その半数が肺炎で、頻度は低いものの脳炎の合併例もあり、特にこの二つの合併症は麻しんによる二大死因になり、注意が必要です。

麻しんは、接触・飛沫・空気(飛沫核)のいずれの感染経路でも感染します。麻しんウイルスの直径は100～250nmであり、飛沫核の状態で空中を浮遊し、それを吸い込むことで感染しますので、マスクでの予防は難しくなり、唯一の予防方法は、ワクチン接種によって麻しんに対する免疫をあらかじめ獲得しておくことです。

●風しん

風しんウイルスによって起こる感染症です。人から人へ感染します。風しんの免疫がない集団に1人の発症者がいると5～7人が感染するとされています。風しんの症状は子供では比較的軽いのですが、稀に血小板減少性紫斑病、脳炎などの合併症により入院が必要になることがあります。成人では、5～30%が関節炎を訴えることがあり、そのほとんどは一過性です。

風しんに感受性のある妊娠20週頃までの妊婦が風しんウイルスに感染すると、出生児が先天性風しん症候群を発症する可能性があります。男女ともにワクチンを受けて、風しんの流行を抑制し、女性は感染予防に必要な免疫を妊娠前に獲得しておくことが重要です。

インフルエンザ

インフルエンザに感染しないよう、手洗いうがいを励行し、マスクの着用を心がけましょう。

学校保健安全法に従い、インフルエンザの場合は発症した後5日を経過し、解熱した後2日を経過するまで大学に来てはいけません。

保険

〈学生教育研究災害傷害保険〉

この保険は学生のための補償救済制度で、学部生は入学時、大学院生は1年毎に全員加入しています。学部生は、保険期間が修業年限(4年間)までのため、残留すると対象から外れ、修業年限以降は任意加入になります。

大学主催行事(全学または各学部の学生全員が参加する公式行事などを含む)および正課の授業時間、課外活動中および通学中等に発生した事故傷害に対して、医師の治療を受けた場合の医療保険金、後遺傷害保険金などが支給されます。

事故が発生した場合は速やかに以下の窓口に出し、保険金請求手続の説明を受けてください。

窓口 学生課

〈遠隔地被扶養者健康保険証〉

健康保険被保険者証カード(個人用)でない場合、必要なものです。急病や不慮の事故などで医療機関を利用するには、遠隔地被扶養者保険証が必要になります。保険証のコピーでは受診できませんので、次の手続きを行ってください。

- 国民健康保険の場合…扶養者が在住している市区町村役場に「在学証明書」を提出してください。
- 社会保険の場合…扶養者の勤務先に「在学証明書」を提出してください。

見舞金・弔慰金・慰問金

本学には見舞金・弔慰金・慰問金制度があります。学生課で問い合わせてください。

● 見舞金

学生本人が正課中等の事故により治療期間7日以上 of 負傷をした場合、見舞金を支給します。

● 弔慰金

不幸にして学生の父母、または学生本人が死亡した場合、大学より弔慰金を支給します。

● 慰問金

地震、火災、水害等により、2親等以内の同居家族が全治1カ月以上のケガをしたり、居所が甚だしく損傷した場合、慰問金を支給します。

ハラスメントへの対応

1. ハラスメントとは

ハラスメントとは、教育・研究・就学・就労などの場で、人種、国籍、信条、宗教、性別、年齢、社会的身分、職業、身体的特徴、性的指向等を理由として、相手の意に反する言葉や振舞いによって他人を不快にさせたり、傷つけたりする言動のことです。大学において問題とされるハラスメントには、例えば、セクシュアル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント、パワー・ハラスメントならびにマタニティ・ハラスメントと呼ばれるものがあります。なお、セクシュアル・ハラスメントにあたる言動が、同時に、上に述べた他のハラスメントにあたる場合もあります。

2. ハラスメントの背景

ハラスメントは、学生生活や教育・研究の場における様々な人間関係のもつれや、セクシュアリティ等についての差別的意識や固定的な観念などから起こりますが、人種、国籍、宗教等についてのハラスメントは、社会的、文化的な土壌の相違、生活習慣の相違などから起こったりします。ハラスメントが起こらないようにするためには、関係当事者がお互いの人格を尊重し、お互いが大切なパートナーであるという意識を持つことが必要不可欠です。特にセクシュアル・ハラスメントについては、相手を性的な関心の対象としてのみ見る意識や、異性を劣った性として見る意識をなくすることが重要です。従来は、とくに問題視されず社会的に許されると思われていた言動が、現在では、社会的に許容されることではなくなったり、本人にとっては悪気のないつもり言動が、相手を不快にして傷つけることがあるかもしれないことに注意しましょう。

3. ハラスメントを受けたら

ハラスメントを受けた場合、これを無視したり、受け流しただけでは、その状況は改善されません。ハラスメントをなくすことは自分だけの問題ではなく、誰にとっても快適な大学生活を送る上でとても重要な問題であることを理解して、勇気を出して対応しましょう。

4. 学内組織および手続き

本学では、ハラスメント問題に適切に対応できるよう、教職員からなる複数の助言相談員を配置しています。また、常設の委員会として、「ハラスメント問題対策委員会」を設置しています。問題解決のための手続きは助言相談員との「相談」から始まり、さらに「あっせん」「調停」「苦情調査」といった手続きも用意されています(詳しくは、この問題をわかりやすく解説したパンフレット「ハラスメント防止のために」を参照してください)。

パンフレット等の情報は、「ハラスメントへの取組」Webページで見ることができます。

<http://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/torikumi/harassment/index.html>

相談受付

メール受付	
メールアドレス	dignity-iinkai@nanzan-u.ac.jp
窓口	
月～金曜日 9:00～17:00	
学生課 C棟2階	Phone:052-832-3118(直)
教務課 C棟3階	Phone:052-832-3117(直)
保健室 D棟1階	Phone:052-832-3437(直)
国際センター事務室 R棟2階	Phone:052-832-3123(直)
南山エクステンションカレッジ事務室 L棟1階	Phone:052-833-6957(直)

相談受付後、ハラスメント問題対策委員会から、折り返し連絡します。助言相談員との面談の日時等はメールで連絡しますので、本委員会からのメールを受信できるよう設定してください。(ドメイン名は【@ic.nanzan-u.ac.jp】です。)ただし、事務休業等により折り返しの連絡が遅くなる場合があります。

あなたと同性の助言相談員を含む2名が、あなたの意思を尊重しながら真剣に耳を傾けます。秘密は固く守られます。

キャリアサポートプログラム

入学後の早い段階から、学生の皆さんが将来の夢や目標を持つきっかけを提供し、社会で働き自立することの意義を考えるために、**キャリアサポートプログラム**を実施します。自らの将来を考える絶好の機会ですので、積極的に参加してください。

● キャリアサポートプログラムの目的および内容 (2020年度予定)

1. 学生生活とその後のキャリアのつながりを考えるため

- ・ キャリアサポートガイダンス
- ・ 学科別学び方講座
- ・ 学生生活デザインセミナー

2. 希望進路の実現に向け何をすべきかを学ぶため

- ・ 希望進路別ガイダンス(民間就職・公務員・進学)
- ・ テーマ別ワークショップ(海外と関わる仕事 など)

3. 社会で活躍することをイメージするため

- ・ 卒業生に聞いてみよう！
- ・ キャリアを考えよう
- ・ 南山大学卒業生キャリア・アドバイザーとの交流会
- ・ 業界・職種研究会

4. 自らの適性、強みや弱点を知るため

- ・ 名古屋銀行との連携協定プログラム
- ・ インターンシップガイダンスなど

日程・内容等の詳細については、学内掲示板、PORTAおよびキャリア支援室Webページで情報提供しますので、常に確認するようにしてください。

<http://office.nanzan-u.ac.jp/CAREER/>

将来のキャリアに繋がるものとしては、この他に南山エクステンション・カレッジの「学生向け特別講座」(有料)があります。(P.38参照)

インターンシップ

「就職後3年以内に3分の1が離職する」時代と言われていきます。これは、学生が社会に対応できる職業観や職業意識を持たず、自立心に欠けていることが大きな要因と考えられています。インターンシップは、これを改善し、国際化・情報化の急速な進展、産業構造の変化に対応する人材育成を目指して、産官学連携のもとで「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行う」教育プログラムです。

「インターンシップ研修Ⅰ」(第1、第2、第4クォーター)、「インターンシップ研修Ⅱ」(第1、第3クォーター)は、2~4年次生を対象とした共通教育選択科目(各1単位)です。講義型の「インターンシップ研修Ⅰ」では、インターンシップの準備のために必要な知識の習得や能力開発を行います。「インターンシップ研修Ⅱ」では長期休暇中に企業等でのインター

ンシップを行う実習と、報告会等の事後講義を行います。履修生の多くはインターンシップを体験し、「就職に対する視野が広がった」「仕事への意欲が出てきた」等の成果を得ています。是非、授業を履修し、社会人としての心構えや働くことの意義を理解し、自己の適性の発見と将来のキャリア計画に役立て、学生生活を有意義に過ごすための契機としてください。なお、第2クォーターおよび第4クォーターにインターンシップ参加希望者対象のガイダンスを開催します。

また、キャリア支援室では、単位取得とは関係なく、自分で受入先を開拓してインターンシップを行う「自己啓発型インターンシップ」もサポートしています。大学に届いたインターンシップ情報は、PORTAに掲載または、配架資料として公開します。

就職の指導と斡旋

就職の指導と斡旋を行っています。

相談や資料の閲覧ができます。

また、PORTAや、キャリア支援室Webページでも就職関連の情報を提供していますので利用してください。

<http://office.nanzan-u.ac.jp/CAREER/>

● 就職の準備

学業成績・課外活動

人物本位で採用する企業が多くなっていますが、学業成績を重視するところも少なくありません。課外活動を重視する企業もあります。

家庭での話し合い

就職が内定していながら、家庭の事情で辞退する人があります。家庭内で事前に十分話し合っ家族の理解と同意を得ておいてください。

就職の相談

指導教員やクラブ部長、学科長、キャリア支援委員会委員、キャリア支援室に相談してください。キャリア支援室では職員やキャリアカウンセラーがいつでも相談に応じます。

就職ガイダンス・各種就職講座・各種研究会

3年次から就職希望者を対象にして、求人概況、応募手続、活動方法などについてガイダンス、就職講座、研究会を開催します。「就活手帳」や各種資料も配布しますので出席してください。

資料コーナー

キャリア支援室の資料コーナーには会社四季報、就職四季報その他最新の就職参考資料を備えており、その多くが貸出可能です。進路選択のために活用してください。

PORTAによる就職情報の提供

PORTA(南山大学ポータル)の「学生メニュー>キャリア支援・就職支援」から、就職関連の情報を得ることができます。企業から大学に直接届く求人情報や、先輩が書いた就職活動体験記の検索システムは、就職活動を行っていく上で貴重な情報源となります。

求人先企業の紹介

大学に申し込みのあった企業の求人申込書は、PORTAに掲載します。求人内訳欄に「学部」「大学院」「外国人留学生」等の項目がありますので、求人の有無を確認してください。

身体障がいや病気等で就職に関して不安のある人は、早めに、遠慮なく窓口へ相談に来てください。個人の秘密は保守します。

●応募手続きの概要

求職登録

大学の情報等を利用して就職しようとする学生は、職業安定法第33条の2により全員、求職登録をしなければなりません。PORTA「進路希望調査」画面に従って希望を入力し、求職登録を行ってください。求職登録は就職斡旋のための基礎資料であり、就職指導および学内選考の際の参考資料となります。求職登録を行わない学生に対しては、就職の斡旋、紹介状の発行ができません。

会社訪問(先輩訪問)

会社案内や資料だけでは、会社の実態や労働環境などは、なかなか読みとれません。先輩に直接話を聞いたり、先輩がいない場合には、人事担当者に問い合わせで会社訪問を行うなど、積極的に会社を研究することが大切です。キャリア支援室にて、過去5年分の企業別卒業生名簿を閲覧することができます。(学生証を持参の上、申請書を記入・提出)

会社説明会

最近の採用活動は、ほとんどの企業で会社説明会への出席が選考の前提条件となっています。本学では、文系採用企業約330社、理系採用企業約90社が参加する会社説明会を開催しています。積極的に参加し、企業の採用・選考情報を収集してください。

学外で行われる会社説明会の案内は求人申込書と同様にPORTAに掲載しますので、興味のある企業には指定された方法で予約して参加してください。

自由応募と学校推薦応募

応募方法には「自由応募」と「学校推薦応募」があります。

「自由応募」とは、希望する学生が誰でも応募でき、企業の応募要領に従い各自直接企業に申し込む方法です。

「学校推薦応募」とは、大学に推薦依頼のあった企業に対

し、大学の推薦を受けたうえで申し込む方法です。推薦の種類には「学校推薦」や「教授推薦」があり、推薦人数に制限がある場合とない場合があります。推薦応募の場合、内定辞退は決して認められませんので、慎重に応募してください。

学内選考

「学校推薦応募」など、受験者の人数枠が設定された求人の場合は、学内選考のうえ、推薦学生を決定します。学内選考は、応募者の成績や適性を考慮して行います。

応募書類

求人先に提出する書類は特に指定されない限り、原則として次のものがが必要です。

- 1.履歴書・自己紹介書(本学指定・写真添付)
- 2.学業成績証明書
- 3.卒業見込証明書
- 4.健康診断証明書

これらの書類の提出、特に郵送する場合は締め切り日ぎりぎりではなく、できるだけ早めに提出するようにしてください。

1.については所定の書式をキャリア支援室Webページからダウンロードできます。

推薦状の発行

企業から「推薦状」を求められた場合は、キャリア支援室に申し出てください。

内定報告と辞退

求人先からの採用内定(内々定)をいただいたら、速やかに「進路届」で報告をしてください。また、入社を辞退する場合は、必ず先方に出向いて、誠意をもって辞退を申し入れるとともにキャリア支援室に報告をしてください。

防災

1. 暴風警報発表時の授業(定期試験を含む)について

尾張東部地域または同地域のいずれかの市町村に「暴風警報」または大雨、暴風、暴風雪、もしくは大雪に関する「気象特別警報」が発表された場合の授業等(定期試験を含む)の措置については、以下の措置に従います。

授業開始以後に警報の発表があった場合は、全学放送等で授業措置の情報を提供します。

なお、警報が発表されていない場合でも、気象状況が時間の経過とともに悪化し、数時間後には警報の発表が十分予測されるときは、休講の措置を行うことがあります。措置の有無については、大学公式Webページ等に掲載します。

上記の各地域に警報が発表されていない場合であっても、周辺地域に発表されている場合がありますので、通学および帰宅する際には、安全確保に十分注意して行動するようにしてください。

なお、学生の居住地域ならびに通学経路上の地域に警報が発表されて帰宅が困難となった場合には、学生の求めに応じ、大学が待機場所を提供します。

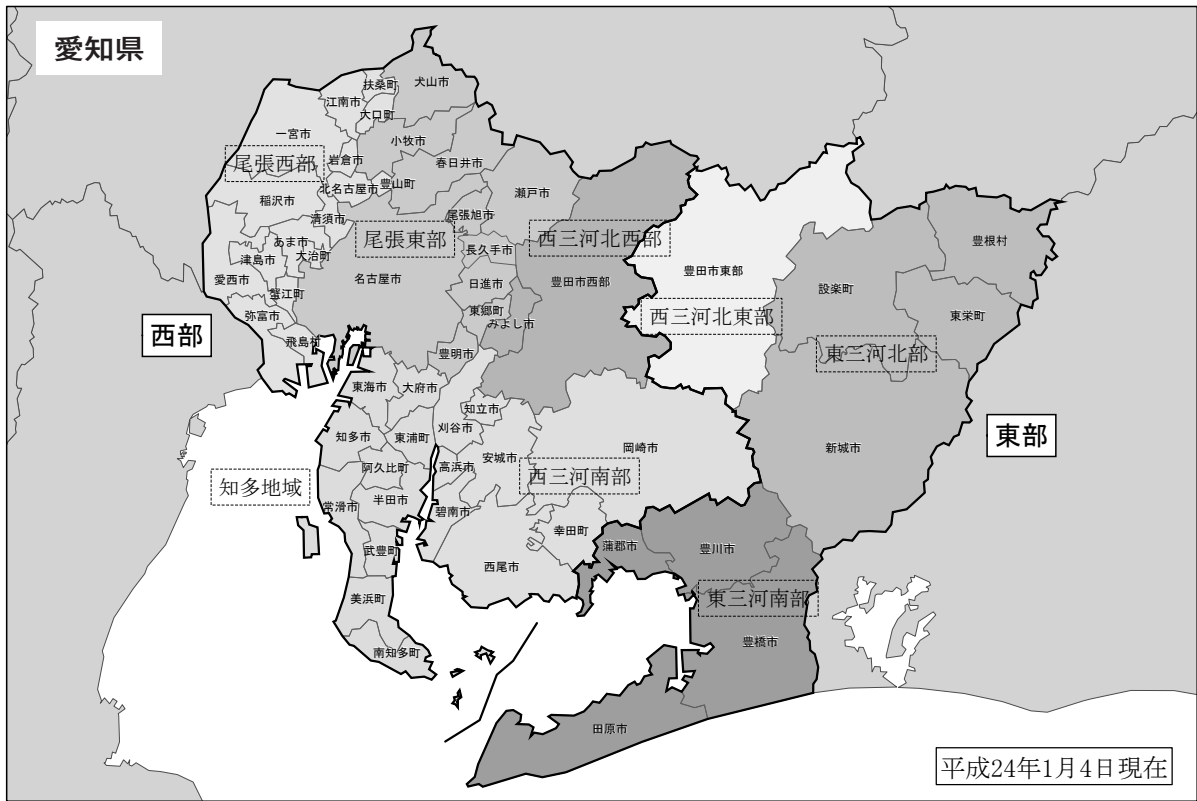
警報発表時の授業(定期試験を含む)措置について

午前7時より前に解除の場合	1時限目より平常どおり授業
午前7時以降午前11時より前に解除の場合	3時限目より平常どおり授業
午前11時以降午後2時より前に解除の場合	5時限目より平常どおり授業
午後2時以降に解除の場合	全時限休講
授業開始以降に発表された場合	大学の指示による

2. 公共交通機関のストライキ時の授業(定期試験を含む)措置について

- 名古屋市内公共交通機関のストライキの場合
 - 「暴風警報発表時の授業(定期試験を含む)について」の措置に準じる。
- JRおよび私鉄のストライキの場合
 - 平常通り授業

愛知県警報発表区分



3. 地震防災対策強化地域判定会の招集または警戒宣言の発令時の授業(定期試験を含む)について

東海地域の観測データの異常が、一定レベルを超えた場合、「地震防災対策強化地域判定会」が招集され、その結果が「地震発生の可能性が高い」場合には、気象庁長官が内閣総理大臣に報告し、内閣総理大臣は閣議を経て「警戒宣言」を発令することになっています。この中で、警戒宣言前の東海地域の観測データの変化に関する情報については、東海地震の前兆現象の可能性が高まったことを示す情報を新設し、警戒宣言前からの防災面の準備行動に資するように「東海地震に関連する調査情報」、「東海地震注意情報」、「東海地震予知情報」という3段階の情報が発表されます。その場合は、大学は次のような措置を取ります。

	東海地震に関連する調査情報	東海地震注意情報	東海地震予知情報
発表される地震情報の種類	東海地震注意情報よりも低レベルのもので、特段の防災行動はとられない。	東海地震の前兆現象である可能性が高まったと認められた場合に発表される。	東海地震が発生する恐れがあると認められた場合に警戒宣言発令とほぼ同時に発表される。
発表に伴う授業等の措置	①発表があった場合でも、授業や課外活動は平常通り実施。	①授業開始前に発表があった場合は、登校せずに自宅待機。登校途中であれば速やかに帰宅。 ②授業開始後に発表があった場合は、授業(試験を含む)や課外活動は中止し、速やかに帰宅。	
解除に伴う授業等の措置	—	解除された日の翌日から授業や課外活動を平常通りに再開。	

4. 緊急地震速報が流れた際の対応について

緊急地震速報

南山大学では、学生の皆さんの安全の確保と地震の被害を最小限度に食い止めるため、キャンパス内各所、交流会館、

学生専用マンションに緊急地震速報装置を設置しています。緊急地震速報放送後地震の強い揺れが来るまでは数秒～数十秒しかありません。その短い間に身を守る行動ができるよう、常に心の準備をしておく必要があります。

5. 地震が発生した場合の避難方法

主震はおおむね1分以内です。揺れている間はむやみに外へ飛び出さず、次のような方法で避難してください。主震後の余震を考えて落ち着いて行動してください。なお、学内の建物は耐震設計となっていますから一般に予想されている地震の際は、建物内の方が安全です。

(1) 建物の中にいる場合

- 1) 教室内: まず机の下にもぐって、机の脚につかまり身を守る。
- 2) 廊下・ロビー: 落下物に気をつけて頭を守り中央部にしゃがむ。窓ガラスから離れる。近くに教室があれば急いで机の下にもぐる。
- 3) 階段: 頭を守りその場に伏せる。
- 4) 体育館: 落下物に気をつけて中央部に集まってしゃがむ。
- 5) クラブ部室: 書庫の倒壊や棚からの落下物に気をつけて素早く廊下などに出る。

(2) 建物の外にいる場合

建物の近く、ブロック塀・石垣・バックネット・ゴール・電柱・建物のピロティの部分、ガラス、ルーバー(コンクリート製日よけ)等の倒壊・落下のおそれのある場所から急いで遠ざかる。

※大学内の避難場所は最終ページを参照してください。

緊急地震速報が流れた時(設定震度4) 男性の声で2回: サイレン×3「地震波を感知しました。 落ち着いて安全な所で待機してください」	ゆれが収まった後		避難・安全確認後
身の安全確保を最優先する	避難経路に従い、避難場所に集合する グラウンド、パッハスクエア		帰宅
◎教室・研究室・事務室・食堂など室内にいる場合は、慌てて外へ飛び出さず、頭を保護し、机の下に身を隠し、揺れに備える。 ◎体育館・廊下・階段など、落下物から身を隠すものがない場合は、ガラスなどの落下物に注意し、できるだけ中央に伏せ、揺れに備える。 ◎図書館などでは、本棚から離れる。 ◎屋外にいる場合は、校舎や他の建造物などから離れ、できるだけ中央に伏せ、揺れに備える。 ◎プール内にいる場合は、直ちに上がり、揺れに備える。特に両サイドのガラスの落下に注意する。 ◎余裕があれば、出入口や窓を開けて避難口を確保する。使用中の火を消す。	地震発生時 (震度を問わない)	◎避難経路に従い、周りの学生と協力しながら、避難場所へ集合する。 ◎エレベータは最寄りの階で停止するので、すぐに降り、階段を使って避難場所に集合する。もしも、エレベータ内に閉じ込められた場合には、エレベータ内の緊急電話で連絡を取る。 ◎火災が発生した場合は、初期消火に努める。	◎災害対策本部からの指示があるまで、避難場所待機する。
	誤報の場合	◎数秒後にキャンセル報が、自動的に流れる。 「サイレン×3 先ほどの地震速報は誤りでした」×2回	

学内で盗難等の事故に遭ったら

もしも学内で盗難等の事故に遭ったら、直ちに、学生課へ届け出てください。

学内で発生した事故には、まず大学として対処し、必要に応じて、警察・消防等の公的機関による対応を要請します。したがって人命に関わる等の緊急の場合を除き、学生の皆さんが直接に警察等へ通報することは、行わないでください。

遺失物と盗難防止

大学構内は不特定多数の人が出入りをしています。公共の場と同じように「貴重品は常に身につけておくこと」「所持品から目を離さないこと」など、自身の所持品は責任を持って自己管理してください。また、自転車・バイクには必ず鍵をかけ、所定の駐輪場へ置くようにしましょう。

●セーフティーボックスの使用に際しての注意

体育授業や課外活動でロッカーを使用する時は必ず施錠してください。財布等の貴重品については貴重品セーフティーボックスを利用してください。セーフティーボックスは下記の場所に設置されています。

体育センター(2階)事務室前
体育センター1階
コパン研修センター1階
クラブハウス1階

●落とし物をしたら

落とし物は、基本的に総合受付に届きますので、そちらを訪ねてください。

飲酒について

一南山大学の基本方針と注意喚起一

学生による飲酒にかかわる苦情、トラブルは、少なくありません。さらに、無理な飲酒行為は、死亡事故に繋がる危険があります。そして、飲酒にまつわる社会の目は、益々、厳しくなっています。南山大学では、原則として、キャンパス内での学生による飲酒を禁止しています。そして、「人間の尊厳のために」という教育モットーを尊び、ルールやマナーを守らない飲酒について厳しく対処します。学生の皆さんは、飲酒の際に節度を保ち、決して飲酒の強要がないよう行動してください。また、未成年者による飲酒は違法です。未成年者が飲酒することも、未成年者に飲酒をすすめることも許されませんので、このことを各自十分に認識して行動してください。

喫煙

キャンパス内は全面禁煙です。また大学の外周道路での喫煙は絶対にしてはいけません(喫煙禁止)。なお、喫煙は吸っている本人だけでなく、「受動喫煙」によりまわりの人の健康や環境を害する恐れがあることを、十分に認識しましょう。皆さんは、以下の3点を十分に認識してください。

- ① 大学キャンパス内は全面禁煙です。
- ② 大学キャンパス外周道路で喫煙することは禁止です。
- ③ 道路にたばこの吸い殻を捨てることは、絶対にしてはいけません。

20歳未満の飲酒・喫煙は、法律で禁止されています。

学内施設の保全と防災・防火

学内の施設や備品の使用上の注意事項

1. 施設・備品をみだりに損傷、汚損しないでください。万一、事故のあった時は、直ちに総合受付へ届け出てください。その場合、相当額を弁償してもらうこともあります。
2. 学内のあらゆる施設・空間を常に清潔に保つよう心がけてください。原則として教室内は飲食禁止です。
3. メインストリートの課外活動掲示板以外の場所において無届で貼紙や立看板を出すことは、一切禁じられています。
4. 机・椅子等器具備品を移動させた場合は、使用後、直ちに元に戻し、整理整頓に心がけてください。
5. 防災等の特例を除き、学内での火気、火気器具および電気機器の使用は認めません。

なお、施設・備品の保全と防火・防災管理、巡視、点検、撤去は、施設課および総務課職員が行っています。

地域住民等への迷惑行為の禁止

1. 騒音について

地域住民に迷惑となるような「音出し」は絶対にしないでください。課外活動等における集合行事等の際の音出しは、必ず申請を行って学生課の指示に従ってください。なお、原則として、午後6時以降の屋外での音出しは認めません。

2. ゴミのポイ捨てについて

大学周辺でタバコの吸殻や空き缶などの、ごみのポイ捨てが散見されます。定められた分別方法に従い、廃棄してください。

3. 住宅街での喫煙について

近隣住宅街での喫煙は絶対にやめてください。タバコの煙が住宅に入り、洗濯物に臭いがついたり、住民の健康に害をおよぼすことになりかねません。

キャンパスマナー

●携帯電話・スマートフォンの使用

授業中はもちろんのこと、各事務室の窓口や図書館、食堂、談話室などで使用すると他の人の迷惑になることがありますので、場所をわきまえて使用しましょう。

●ゴミの処理

大勢が生活をするキャンパスでは、毎日大量のゴミが捨てられます。きれいなキャンパスを保つためにも、一人ひとりになるべくゴミを減らすように心がけ、ゴミが出た場合はポイ捨てをせず、分別をして所定のゴミ箱に捨てるようにしましょう。

●食堂の利用

キャンパス内には大人数が収容可能な食堂がありますが、昼休みには混雑して席を確保できない場合があります。一人でも多くの人が快適に食事ができるように、混雑時には食事が済んだらすみやかに席を譲るようにしましょう。

昼休みには、S21、B11、DB1、G28、G30教室を昼食場所として開放しています。ただし、行事等で使用できない日もあります。

「悪徳業者」「マルチ商法」による被害に遭わないために

学生から個人情報聞き出し、高額商品や資格講座受講の契約をさせるような勧誘を行う「悪徳業者」は後を絶ちません。過去にはキャンパス付近で「英会話スクール」を名乗って学部・学科・電話番号を聞き出す者が現れ、学生に対し「就職に役立つ情報があるので会社に来るように」などとしつこく勧誘をしていました。

また、友人や知人を勧誘して商品購入の契約を結ばせる「マルチ商法(ネットワークビジネス)」による被害も毎年のように発生しています。本学でも高校時代の同級生など、学外の友人から誘われるケースが見られました。

このような被害に遭わないために、以下の点に注意するよう心がけましょう。

- ・悪徳業者は様々な手口で個人情報を入手し、巧みに勧誘を行うため、不審だと思われる者には絶対に個人情報を教えないようにする。
- ・「勝ち組になる」「人生が変わる」など、将来の成功を約束するような甘い言葉には惑わされない(特に新入生、および就職活動をしている学生は要注意)。
- ・親しい人からの誘いでも、怪しいと思ったら毅然とした態度で断るようにする。

さらに、勧誘を受けて困ったり被害に遭ったりしたときは、学生課へ相談してください。また、商品の購入契約をした際、場合によってはその契約の取消が可能となる「クーリング・オフ制度」があります。詳しくは消費生活センターに問い合わせてください。

なお、キャンパス内で勧誘を受けたり見たりした際は、直ちに以下へお知らせください。

総合受付 Phone 052-832-3891

《消費生活センター》

愛知県中央県民生活プラザ Phone 052-962-0999

名古屋消費生活センター Phone 052-222-9671

悪質な宗教団体からの勧誘

「摂理」など、マスコミの報道でも大きく取り上げられましたが、最近悪質な宗教団体などに関するトラブルが大きな社会問題になっています。そういった団体は「一緒に〇〇をやりませんか?」など、悪質な宗教団体であることを隠し、あたかも学内サークルの勧誘のように近寄ってくるようです。その会員になると、マインド・コントロールにより様々な活動を強制させられたり、多額の献金を要求されることがあります。それによって学生生活が台無しになってしまうことも考えられますので、十分注意をしてください。

なお、勧誘を受けたり、何らかの情報を得た場合は、学生課までお知らせください。

学生ローン・クレジットカード使用の注意

いわゆる「学生ローン」は、学生証だけでお金が借りられるなど利用手段が簡単のため、安易な気持ちで利用する人が少なくないようです。しかし、高金利支払のため借金が雪ダル

マ式に増えていくため、返済のために別のローンを組み、最後には自己破産、ということにもなりかねません。また、クレジットカードはサインひとつで簡単に取引ができますが、多額のお金を借りたり高額な品物を買ったため、後になって支払いができずに困ってしまうケースもあります。

ローンやクレジットカードはよく考え、慎重に利用するように心がけましょう。

ひとり暮らしに関する注意

大学生になり、親元を離れて初めてひとり暮らしをする人も多いかと思います。学生のひとり暮らしは何かとトラブルに巻き込まれることが多いため、以下の点に十分注意しましょう。

- ・ストーカーなどの被害に遭わないために、夜道のひとり歩きをしない。
- ・むやみに住所や電話番号を他の人に教えない。
- ・施錠、戸締りはしっかり行う。
- ・不審な訪問販売には気をつける。(「管理人から依頼されて来ました」などの言葉には要注意)
- ・ゴミは決められた収集日に分別をして捨てる。
- ・実家にはこまめに連絡をする。

なお、引っ越しをして住所や電話番号を変更した場合は、必ず「PORTA(南山大学ポータル)」から変更を行ってください。

●愛知県警察

「女性のみなさん、気をつけて!」

<https://www.pref.aichi.jp/police/anzen/shijo/josei.html>

薬物使用に関する注意

ハーブやアロマオイル、バスソルトやビデオクリーナーなどと、一見すると人体に無害な製品を装って、麻薬や覚醒剤以上に有害かもしれない薬物が、「合法」や「脱法」といって売られています。それら危険ドラッグを、繁華街にある店や自動販売機、インターネットなどで購入して、吸ったりのんだりしたことで、意識障害、嘔吐(おうと)、けいれん、呼吸困難などを起こして、重体に陥る事件や死亡する事件が起きています。危険ドラッグの多くは、麻薬や覚醒剤によく似た合成薬物を植物片に混ぜたり、水溶液で溶かして液体にしたり、粉末にしたりしたものです。麻薬や覚醒剤の化学構造のほんの一部を変えることで、「麻薬や覚醒剤ではない」とされてきましたが、実は麻薬や覚醒剤と同様の作用をもたらす、非常に危険な成分が含まれています。それどころか、化学構造を変えたことで、麻薬や覚醒剤以上に危険になっていることもあるのです。

「一回なら大丈夫」「いい気分が味わえる」「イヤになればすぐ止められる」などと誘われるかもしれませんが、絶対に手を出してはいけません。その場のノリや無責任な誘いかけ、好奇心に流されないようにしましょう。甘い誘いであっても、決して近づかないことです。危険ドラッグは、持たない、もらわない、買わない、使わないことが大事です。

●内閣府

「ストップ! 危険ドラッグに手をだすな!」

https://www8.cao.go.jp/souki/drug/stop_drug.html

●愛知県警察

「危険ドラッグは、大変危険です！」

<https://www.pref.aichi.jp/police/anzen/soshiki/yakuju/dappou.html>

海外へ渡航する際の注意

留学や海外短期プログラム、ゼミ等での研修旅行、個人での海外旅行等、学生が海外へ出かける機会が増えています。

しかし、地震、津波等の自然災害や紛争・テロ等の危険、感染症、盗難など海外においてトラブルに巻き込まれることも少なくありません。

海外においては「自分の安全は自分で守る」ことが大前提です。以下の点に注意しましょう。

- ・ 渡航中の日程、滞在先、連絡方法を家族や保証人に必ず伝えること。
- ・ 事前に現地の情報を十分に調査・収集し、渡航中も情報収集を怠らないこと。
特に渡航先の日本大使館・領事館の情報は必ず確認すること。
- ・ 外務省が実施している渡航登録サービス「たびレジ」(滞在が3か月以上の場合是在留届)に必ず登録すること。
- ・ ケガや病気、荷物の盗難等に備え、海外旅行保険に加入すること。
- ・ その国や地域の文化や習慣を理解し、法律を遵守すること。
- ・ 危険な場所を避け、夜間の外出は控えること。

海外へ渡航する際は、どのような理由であれ「海外渡航届」を大学に提出してください。

密 学生課

●外務省海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

ソーシャルネットワークサービス (SNS) を利用する際の注意

Facebookやtwitter、LINE、Instagramなどは、友人同士の連絡やコミュニケーションを取るツールとして広く利用されています。便利な道具である一方で、使い方を誤ると多くの人に迷惑をかけたり、ときには犯罪に巻き込まれる場合もあります。また、悪質なものについては、大学からの指導・処分(停学・退学等)の対象となる可能性があります。場合によっては、名誉毀損の罪に問われることもあります。利用する際には、以下のような点に十分注意しましょう。

SNSには以下のような特徴があります。

- ・ 情報の伝わるスピードが速い
- ・ 一度SNSに掲載した情報は永久に残ってしまう
- ・ 情報は公開されて全世界の人に見られる可能性がある

1. プライバシーには十分注意する

SNSは閉鎖された空間ではなく、全世界の人が誰でも見

ることができるものです。たとえ、友人とのやり取りであったとしても、運転免許証を撮ってSNSに掲載したり、自宅やアルバイト先がわかってしまうような情報を掲載すると、瞬く間に個人情報が拡散することになり、悪意を持った第三者から攻撃を受けるなどの思わぬトラブルを招きます。また、友人との写真を無断で掲載することも、プライバシーの侵害にあたります。

2. 虚偽の内容や不適切な内容を掲載しない

「有名人の名を騙って偽の投稿をする」「アルバイト先の食材を使った不適切な行為を写真に撮って掲載する」などの行為によって、あっという間に情報が拡散してしまい、手に負えなくなるという事例がいくつも報道されています。SNS上で目立ちたいという気持ちから虚偽の内容を掲載することが、重大な問題に発展し、訴訟を起こされるケースも実際に起きています。

3. 誹謗中傷は行わない

SNS上の場合、普段面と向かって言えないような言葉でも発信できるという気持ちになりがちです。こういったやり取りが原因でSNSから現実でのトラブルに発展することもあります。匿名だからと、面識がない人への誹謗中傷や攻撃を行った場合でも、IPアドレスなどの情報から個人を特定することは可能です。インターネット上で安易に他人への誹謗中傷や無責任なうわさ、プライバシー情報を流すことは人権侵害につながり、場合によっては、名誉毀損の罪に問われることはあります。

トラブルになりそうな場合や、嫌がらせなどの被害に遭った場合は、学生課へ相談してください。また、インターネット上の人権侵害については、法務省でも問い合わせを受け付けています。

●総務省

「SNS利用上の注意点」

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/security/enduser/security02/05.html

●法務省 人権相談

http://www.moj.go.jp/JINKEN/index_soudan.html

3

施設ガイド

大学内施設

キャンパス校舎
総合受付
本部棟
C棟
食堂・コンビニエンスストア・書店など
教室棟
S棟
昼食利用可能な教室
人類学博物館(R棟地下1階)
L棟(ヒルシュマイヤー記念館)
第1研究室棟
第2研究室棟・N棟
リアン
R棟
図書館
J棟
D棟
F棟
K棟
A棟(法科大学院棟)
クラブハウス・第2クラブハウス・リアンクラブハウス
コパン(学生会館)
Q棟
体育施設
ロゴスセンター(キリスト教センター)
茶室
グリーンエリアとパッヘスクエア
研究所等

図書館

図書館利用ガイド

その他の施設

南山大学の研修施設
同窓会
神言神学院
南山アーカイブズ

キャンパス校舎

1964年、昭和区五軒家町から山里町の新校舎に移転したのが、現在のキャンパスのはじまりです。総合計画は、チェコ生まれのアメリカ人建築家アントニン・レーモンド (Antonin Raymond 1888-1976) の設計によるもので、竣工時に日本建築学会賞を受賞しました。その歴史的・文化的価値の高い建物と景観は現在も継承されています。

2017年度からレーモンド氏の設計思想である「自然を基本として」を継承し、建物の改修や外構整備を行う「レーモンド・リノベーション・プロジェクト」を進めています。既存教室の改修や学生のためのセミナー室整備に加え、安全性・利便性向上のためのグラウンド人工芝整備やキャンパス内動線の整備、セキュリティ強化やユニバーサル化にも取り組み、2021年度中の完成を目指しています。

総合受付

大学正門を入ってすぐ右側の建物が総合受付です。警備員が常駐し、構内案内、出入りする車輛のチェック、鍵の保管、遺失物・拾得物の取扱いなどを担当するほか、種々の問い合わせにも応じています。

本部棟

総合受付に隣接する3階建ての建物が本部棟です。

1階には入試課、総務課、2階には教育・研究支援事務局、人事課、経理課、会議室などがあります。

C棟

2007年に建てられた地上3階建ての建物です。1階に食堂、2階に学生課、3階に教務課があります。

食堂・コンビニエンスストア・書店など

※長期休暇中の営業時間については、Webページ等でお知らせします。

臨時営業中および日曜日は談話室として利用できません。

※特別営業日を除き日曜日は休みです。

●食堂等

リアン	2階	リアンカフェ	月～金 11:15～14:00 (営業終了後～20:00 談話室として開放) 土 休み (8:00～20:00 談話室として開放)
C棟	1階	1SYOKU	月～金 10:00～15:00 (営業終了後～20:00 談話室として開放) 土 休み (9:00～20:00 談話室として開放)
S棟	3階	BISTRO CEZARS	月～金 10:00～14:00 (営業終了後～20:00 談話室として開放) 土 休み (9:00～20:00 談話室として開放)



体育センター	2階	第3食堂	月～金 11:00～15:00 土 休み
コバン	2階	DA・GA・NE	月～金 10:00～14:30 土 10:00～14:30 (営業終了後～20:00 談話室として開放)
		CEZARS CAFE	月～金 9:30～17:00 土 休み
		ベーカリー フォーノ	月～金 9:30～16:00 土 休み
	3階	フォーノ	月～金 11:00～14:30 土 休み

●コンビニエンスストア

コバン	2階	ローソン 南山大学店	月～土 8:00～20:00
S棟	2階	ローソン 南山大学S棟店	月～金 8:00～20:00 土 休み

●書店

コバン	3階	紀伊國屋書店	月～金 9:45～17:15 土 10:15～13:30
S棟	2階	丸善 キャンパスショップ	月～金 9:45～17:15 土 休み

●厚生サービス・南山グッズ販売

コバン	3階	NES 南山大学店	月～金 10:00～17:00 土 休み
-----	----	--------------	-------------------------

●プリントセンター

本部棟	1階	ウエルオン	月～金 9:00～17:30 土 休み
-----	----	-------	------------------------

教室棟

教室棟は主として正課の授業と大学主催の諸行事に使用されます。学生の皆さんの課外活動にも正課の授業等に支障をきたさない範囲で使用できますが、その場合は次の各事項を必ず遵守してください。

- (1) 課外活動等で使用したい場合は、使用予定日の1週間前までにC棟2階学生課にて教室予約の手続きをしてください(使用可能な教室は学生課でご確認ください)。
- (2) 課外活動等で教室を使用できる時間

- ・ 平日の昼食時間帯
- ・ 平日の正課による教室使用終了後18時50分まで
- ・ 休日に使用する場合9時～16時50分、H棟のみ18時50分

- (3) 他の人の学習や課外活動を妨げるような行為、品位を損うような行為などは、厳に慎んでください。

- (4)使用後は教室内の机・イス等を元の位置に戻し、次の授業に支障のないようにしてください。
省エネルギーのため、最後に教室を退室する場合は、空調設備や照明の電源を切るように心がけてください。
- (5)特に許可された場合以外、次の行為は禁じられています。

- 1.教室内での飲食
- 2.楽器の練習や球戯
- 3.電気器具の使用

- (6)屋上への立入は安全管理上、禁じられています。

S棟

2015年の理工学部移転にともない、新たに建てられた地下1階 地上7階建ての建物です。研究室棟(北側)と教室棟(南側)があり、1階には、理工学部長室、理工学部事務室、会議室があります。2階にはロッカースペースがあります。2階～5階には学生研究室があります。3階には、情報センター事務室、情報センターTA室があります。また、2階にはコンビニエンスストアと書店、3階には食堂があります。

● 研究室棟

以下の時間帯で使用することができます。

月～土	7:00～23:00 (22:00以降はICカードでの利用)
日・授業のない祝日・事務休業日	7:00～23:00 (ICカードでの利用)

※ICカードは理工学研究科の大学院生、理工学部の3年次以上の学部生に配付

昼食利用可能な教室

お昼時の学生食堂は混雑します。お弁当を持ってきた場合は、以下の教室をご利用ください。

- S21** (S棟2階、ローソン前)
B11 (B棟1階、1SYOKU付近)
DB1 (D棟B1階、コバン前)
G28 (G棟1階、G30向かい側)
G30 (G棟 メインストリート付近)

[昼食利用可能時間 12:35～13:20]

人類学博物館(R棟地下1階)

1949年に人類学民族学研究所に設置された陳列室に端を発している当館は、1979年に独立、「南山大学人類学博物館」として歩み始めました。そして2013年10月、R棟地下1階へ、装いも新たにリニューアルオープンしました。当館は、全ての人の好奇心のための博物館“ユニバーサル・ミュージアム”を目指して活動しています。考古資料・民族誌資料・現代生活史資料を展示しており、これらの資料は自由にさわることができます。研究者になった気分、古今東西のコレ

クションをじっくり堪能してください。

博物館の多種多様な収蔵品

人類学博物館に収蔵されている資料は、国内外の考古・民族誌資料を中心に形成されています。これらの資料の大半は、考古学者・人類学者であったカトリック神言会の神父によって蒐集されました。特に、マリンガー神父が蒐集したヨーロッパの旧石器資料、アウフェンアンガー神父が蒐集したバプアニューギニアの民族誌資料、グロート神父が蒐集した関東地方の縄文時代遺物などは出色の資料群です。

この他にも、名古屋市指定文化財の大須二子山古墳出土資料、上智大学寄贈のタイ山地民の民族誌資料、人類学者・故西江雅之氏のコレクション、現代生活史資料など、多種多様なコレクションを展示室でご覧いただけます。



開館日/開館時間≫月曜日～土曜日/10:00～16:30

閉館日≫日曜日・大学事務休業日、大学入学試験期間

毎月最終週水曜日13:00～

入館無料

人類学博物館Webページ≫

<http://rci.nanzan-u.ac.jp/museum/>

※Webページでは、企画展、博物館講座、東海地方の遺跡を巡るフィールドワークなど、イベント情報を随時ご案内しています。是非ご覧ください。

人類学博物館公式Instagramも

ご覧ください。



L棟(ヒルシュマイヤー記念館)

階数	教室名	備考
3階	同時通訳室	24人収容通訳ブース4
2階	視聴覚教育センター事務室	
1階 地下1階	LL教室語学視聴覚小教室	64人収容が2教室 40人収容が10教室

第1研究室棟

地上6階、地下1階の第1研究室棟には専任教員の各研究室と非常勤教員用の講師控室(1階)があります。講師控室は学生の無断入室は厳禁です。用事がある場合には1階の受付窓口で手続を行ってから入室してください。



第2研究室棟・N棟

バツヘスクエアの東隣にある各棟3階建ての建物が、南側から順に、第2研究室棟とN棟です。1階にはラーニング・コモンズ、2～3階にはセミナー室があります。

リアン

1階がクラブハウス、2階が食堂になっています。フランス語で「縁、絆、つながり」を意味する名称は、学生・教職員の応募の中から決まりました。クラブハウス前のピロティや食堂のデッキなど、学生の交流の場が広く設けられています。

R棟



語学教育・国際交流の拠点として、国際センター事務室、外国語教育センター、ワールドプラザ、多文化交流ラウンジ、ジャパンプラザなどの施設が集約されています。また、大学正門からすぐという立地を活かし、500名収容可能な「フラッテンホール」や「人類学博物館」など、学外の方の利用も可能な施設を備えています。

国際センター事務室

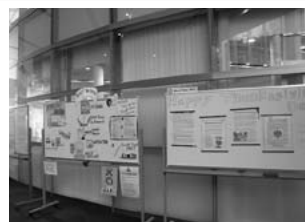
海外への留学希望者や諸外国からの留学生に対する支援を全面的に行っています。国際センターでは、世界中の交換留学協定校や、各国への留学を希望する学生に対して、各種ガイダンスをはじめ、留学に関する手続きや相談に応じています。また「外国人留学生別科」においては、日本語および日本研究に関する科目を開講し、毎年約25の国と地域から留学生を受け入れています。



その他、本学の学部や大学院で学ぶ外国人留学生に対する生活支援や留学生と日本人学生が共同生活を送る国際学生宿舎の入居に関する諸手続きも行っています。

外国語教育センター

外国語教育センターでは、共通教育科目の外国語科目を運営しています。学生の皆さんがより質の高い外国語教育を受けられるように、授業内と教室外の両面におけるサポートを提供します。ワールドプラザは日本語禁止で、多くの学生が楽しそうに外国語でコミュニケーションをしています。教材やDVDも揃っており、外国語を使った各種イベントも開催されます。



図書館

正門から入りメインストリートをまっすぐ進んで左手にあるのが図書館です。図書館の利用については、図書館の説明(P.58)を参照してください。

図書館3階にはセミナー室があります。(図書館の入口とは別です。)



J棟

F棟西側に隣接する地下2階地上8階建ての建物です。地下1階には地域研究センター(アメリカ研究センター、ラテンアメリカ研究センター、ヨーロッパ研究センター、アジア・太平洋研究センター)、社会倫理研究所があります。また、地下1階～地上2階にはセミナー室があり、4階および6～8階には専任教員の研究室があります。



D棟

J棟と南側で連結し教室、研究室、事務室などが配置された地下1階地上7階建ての建物です。地下1階には300名収容の大教室、1階には保健室、2階には学生相談室、特別修学支援室、学生交流センター、3階には教職センター、5階までは小教室、多目的教室、実験室等様々な教室が準備されています。また、6階および7階は会議・合同研究室や個人研究室、人間関係研究センターとなっています。

学生交流センター

「関わりあい、教えあい、学生相互の支援活動と協働活動の創生」という理念のもとに、学生交流センター「CENTRUM(セントルム)」が、設置されています。

学生交流センターは、「学生の皆さんが集いやすい雰囲気作り」をコンセプトに、より豊かなコミュニケーションが図れるスペースの提供を目指しています。

現在、学生交流センターを拠点に、コア・グループとよばれるグループが形成され、学生同士が交流できる機会を提供し、サポートしています。また、学生交流センターには学生スタッフがあり、学生の皆さんの相談にのったり、イベントや活動を企画して、学生支援の一端を担っています。



ランチトーク

開室時間：9:00～20:30(授業期間のみ)

※月～金曜日のお昼休み(12:40～13:25)には学生スタッフが常駐します。

E-mail: n-ctm@nanzan-u.ac.jp

教職センター

教職を目指す学生の皆さんへのサポートを充実させるため、D棟3階に教職センターを開設しています。

教職センターには専任教員だけで



〈活動風景写真〉採用試験の面接練習

はなく、非常勤相談員(水曜午後)や大学院生のティーチングアシスタントが、教職進路相談、小論文指導、面接指導、集団討議指導を行うなどの各種キャリア支援を行っています。

また、教職センターの自習スペースでは、教員採用試験に向けた筆記試験の勉強をしたり、教員を目指す学生が集まって採用試験のための面接練習をしたりと活発に活動するための場となっています。

1年生から利用できますので、将来教職を目指す人は、ぜひ気軽に足を運んでください。

F棟

2～3階にはセミナー室があります。

K棟

地下1階～地上3階にはセミナー室があります。
地下2階にはロッカー室があります。

A棟(法科大学院棟)

2004年に完成した地上7階建ての建物です。2階には名古屋高等裁判所をモデルに作られた模擬法廷、3～5階には40人教室を4室、80人教室を4室、大学院生研究室13室を準備、6階には教員研究室20室、7階には教員研究室18室と合同研究室が配置されています。



クラブハウス・第2クラブハウス・リアンクラブハウス

クラブハウス内には、課外活動のためのクラブ部室と会議室があります。

使用時間は、8:00～21:00

- 1.部室は、大学が認めた課外活動登録団体に貸与し、各団体で管理しています(年度更新)。
- 2.部室の鍵は、総合受付で学生証提示により貸し出します。
- 3.借用中の部室の鍵は、各クラブで原則として、自主管理し、当日中に総合受付に返却します(盗難などの防止の為、施錠には充分注意してください)。

コパン(学生会館)

体育センター東隣の食堂・書店・コンビニ(p.50参照)および研修センター(p.60参照)のある棟がコパン(学生会館)です。名称は学生の応募の中から決まりました。

2階、3階には学生ラウンジとしての共用スペースがあります。(利用時間 8:00～20:00)

Q棟

2017年の総合政策学部移転および国際教養学部開設にともない、新たに建てられた地下1階 地上7階建ての建物です。1階にはロッカー室、2階にはキャリア支援室、全学生が利用できるラーニング・コモンズがあります。また、4階にはセミナー室、5階には総合政策学部長室、総合政策学部事務室、合同研究室、会議室があり、7階には国際教養学部長室、国際教養学部事務室、合同研究室、会議室、GLSラーニング・コモンズがあります。

ラーニング・コモンズ

ラーニング・コモンズは、学生の自主的な学び(アクティブ・ラーニング)を促進するために学内各所(Q棟、S棟、図書館棟、第2研究室棟、N棟)に整備されています。どのラーニング・コモンズもグループ学習がしやすい空間になっており、調べたい情報を即時に検索・活用できるようBYOD(Bring Your Own Device)に対応した無線LANを

整備しています。なかでもQ棟2階のラーニング・commonsは、キャンパスのグローバル化に対して質的変革を起こすことを目指して整備された学内最大のラーニング・commonsです。メインストリートからアクセスしやすく、多くの学生や教職員が集う学びの場所となっており、様々な学習イベントや講座に対応できるよう多機能でフレキシブルな空間になっています。

体育施設

大学行事、体育実技の授業および体育系クラブの練習に支障のない限り使用できます。

●スポーツサービスルーム(SSR)



全学生および教職員のスポーツ活動のために様々なサービスを提供することを目的とした組織です。トレーニングルーム(TR)の個人利用希望者は、TR講習会を受講することで許可証の発行を受け利用が可能になります。その他、課外の運動のための機会や情報を提供しています。

大学祭期間中にはスポーツ大会が開催されます。詳しくはSSR窓口でお尋ねください。

<http://www.ic.nanzan-u.ac.jp/club/ssr/index.html>

体育館・テニスコート・体育センター(メインアリーナ、多目的ホール、剣道場、卓球場、柔道場、ラケットボールコート、トレーニングルーム)

授業および体育会所属クラブにより施設毎に利用時間が組まれています。体育館・メインアリーナ・卓球場・テニスコートについては、当日、施設が空いている場合は利用できます。利用の際は、体育館事務室へお問い合わせください。なお、原則として体育施設の予約はできません。

地下1階にはロッカー室があります。

人工芝グラウンド

「レーモンド・リノベーション・プロジェクト」の一環として人工芝グラウンドが2019年3月に完成しました。利用の際は、芝生を傷つけないようにヒールの靴で立ち入らない、靴の汚れをマットで落としてから使用する、飲食はしないなど、グラウンド入口に掲示されている注意事項を遵守してください。

プール

体育実技の授業、水泳部・トライアスロン部練習日、公式試合に使用される場合を除き、一般学生も使用できます。利用時間帯については、プール受付で尋ねてください。

学生 10:30~18:30 (平日)
12:00~20:00 (土曜日)
なし (日・祝祭日)

※授業および課外活動の利用時間帯を除く

ロゴスセンター(キリスト教センター)

キリスト教センターは、キャンパス東門横にあり、2017年4月に設立されました。キリスト教センターは、学生・教職員、地域社会やキリスト教教会など様々な人々との結びつきの中で、宗教心を養い育むためのキリスト教活動全般を推進し、キリスト教を学問的に学ぶことに留まらず、「実践的な活動の場」を提供することで、様々な体験を通して人材育成に貢献することを目的に活動しています。建物の名称は「ロゴスセンター」といい、学生の課外活動、国際ボランティアの活動拠点として、また、キリスト教関連の講座など、宗教に係わる講座・研修会等を開催し、南山大学生や教職員等が利用できます。

●キリスト教センター講座

《キリスト教関連》

「キリストの教え」

「青年のためのキリスト教入門(アルファコース)」

「English Bible Reading」

《文化音楽関連》

「フランス語」「インドネシア語」

「スペイン語」「韓国語」「英語」

「オルガン・メディテーション」

「グレゴリオ聖歌・ルネサンス音楽講座」

●南山エクステンション・カレッジ講座

「パイプオルガン」「和楽器」「墨を愉しむ」

●国際ボランティア活動



RASA-JAPANは、フィリピンで子どもたちのための教育施設建設ボランティアをしています。キリスト教センターは学生ボランティア参加希望者の窓口となっています。

●チャペル

地下にはチャペルがあり、毎日ミサがささげられています。また、結婚式を挙げることもでき、卒業生の方々に喜ばれています。



●ミサの時間

言語	曜日	開始時間
日本語	月曜日~土曜日	8時
スペイン語	第1日曜日	11時
フランス語	第3日曜日	10時
ポーランド語	第2・第4日曜日	10時

※変更する場合があります。事前にキリスト教センター事務室までお問い合わせください。

●施設の利用

ホール、教室、食堂があります。

●図書の閲覧・貸出

キリスト教関係を中心とした図書の閲覧および貸出をしています。

詳細はキリスト教センター事務室までお問い合わせください。

Phone 052-833-3110

E-mail: christian-c@nanzan-u.ac.jp

ロゴスのシンボル・マーク



ロゴスセンター入り口付近の壁に刻まれているこのマークはギリシャ語のロゴス(ΛΟΓΟΣ)と英語のセンター(CENTER)という文字を組み合わせたもので、中央部に十字架が配されています。ロゴスという語は、一般に言葉や思想を意味します。イエス・キリストを意味することもあります。

■指導司祭(チャプレン)

チャプレン(Chaplain)とは、チャペル(祈りの場所)で働く人のことですが、本学では教育理念「人間の尊厳のために」(HOMINIS DIGNITATI)の実現を目指し、3名のカトリック司祭の教員が、学生を教える傍ら指導司祭(チャプレン)として働いています。

■キャンパス・ミニストリー

キャンパス・ミニストリー(Campus Ministry)とは、大学キャンパス内で指導司祭によって行われるスピリチュアル・ケアの事です。キリスト教センターで行われるミサや、キリスト教・聖書講座もその一環で、キリスト教センターの講座のほとんどは無料で、どなたも参加できます。

茶室

2棟の茶室は、1966年神言会創立90周年を記念して南山大学友の会と後援会の尽力により、郷土が生んだ江戸時代の俳人横井也有ゆかりの「也有の席」と旧名古屋茶道クラブの「方寸庵」を、名古屋市中区の旧所在地から解体移築したものです。2007年1月～3月に大規模な改修がされました。



グリーンエリアとパッヘスクエア

本部棟とK・M棟などに囲まれた、芝生と木立の空間がグリーンエリアです。その中心部のレンガ張りの所は、初代学長アロイジオ・パッヘ師を記念して「パッヘスクエア」と名づけられています。この広場の北端には、南端の噴水と向かいあって同師の記念碑が立っています。



この緑地帯は皆さんの憩いの場ですから、芝生の立入りは自由ですが、事故の防止と芝生の保全のため、ここでの球技やフリスビー、机・椅子・ベンチなどの搬入、グループでの専

有は、学生部長が特別に許可した場合を除き一切禁じられています。

研究所等

人類学研究所

人類学という名称を冠する日本では数少ない本研究所は、神言会員でアントロポス研究所(現ドイツ)のW・シュミット博士の系譜を継承すべく1949年に設立されました(1954年に人類学・民族学研究所から人類学研究所に改称)。人類の長期的で総合的な理解に向けて、文化人類学と考古学の融合を積極的にはかりながら、アジア・アフリカ・オセアニア・アメリカ大陸などを対象として、グローバルな視野で現在人類が直面している諸問題を根本的に検討するという目的のもと、研究活動を行っています。さらに、公開講演会、公開シンポジウム、共同研究会などを開催するほか、人類学フェスティバルや映画上映会のような活動を通して、学術界や研究者のみならず広く一般社会にも開かれた研究所を目指しています。

南山宗教文化研究所

南山宗教文化研究所は、宗教・文化一般、特に日本を中心とする東洋の宗教・文化に関する学際的な研究とともにキリスト教と諸宗教の相互理解の促進と研究者の養成を目的としています。その目的のために、学術会議の開催、公開講座や公開講演会等の開催、目的を同じくする内外研究機関および研究者との協力、年報の発行、学術刊行物の編集公刊、文献資料の収集などを行っています。近年、日本哲学の国際的な研究のために英語で『日本哲学資料集』を刊行して大きな反響を呼びました。また、毎年、多数の海外研究者が訪問し、私たちと共同研究を行っています。

社会倫理研究所(J棟地下1階)

社会倫理研究所は、産業社会および技術文明の中で人間性が失われようとしている風潮に対し「人間の尊厳」を回復する方途を探究する新しいタイプの研究所として1980年5月に設立されました。そこで社会諸科学や倫理学・社会哲学の立場から、変わりゆく現代社会における価値と倫理の諸問題を研究すると共に、これらの問題に対する社会的関心を喚起し普及することを目指しており、『社会と倫理』と『時報しやりんけん』の刊行をはじめ、研究会や懇話会、シンポジウムの開催等を行っています。

アメリカ研究センター(J棟地下1階)

アメリカ研究センターは、日米教育委員会(フルブライト委員会)の研究教育機関に対する助成計画により資金援助を受け、1976年4月に発足しました。本センターは、学内での学際的なアメリカ研究の推進と地域研究としてのアメリカ研究の教育面における寄与ならびに中部地区におけるアメリカ研究・教育の拠点としての機能を果たすことを目的としており、アメリカ研究に関する文献・資料の収集およびそれらの閲覧・貸出業務、*Nanzan Review of American Studies*の編集刊行をはじめ、講演会・研究会等を開催しています。

2007～11年度には、国際的催しである「名古屋アメリカ研究夏期セミナー(NASSS)」を開催してきました。

学内外の研究者の皆さんのみならず学生や院生の皆さん、研究論文や授業レポート、卒論、修士論文等の執筆の際に大いにご利用ください。また一般の方のご来訪も大歓迎です。

ラテンアメリカ研究センター(J棟地下1階)

ラテンアメリカ研究センターは1964年、外国語学部イスパニヤ科の教員有志により、イペロアメリカ研究所として設立されました。1983年4月にそれが再編成されて、「ラテンアメリカ研究センター」が発足し、現在に至ります。

ラテンアメリカを専門とする研究機関は全国的に見ても少なく、中部圏では本センターが唯一で、ラテンアメリカの文化の紹介、この地域の政治・経済・歴史等々についての情報の提供、資料の収集や閲覧・貸出業務、講演会・研究会等を行っています。また、2004年度より欧文雑誌 *Perspectivas Latinoamericanas* を刊行し、2006年度より和文研究書『ラテンアメリカ研究シリーズ』を出版しています。

2015年度に文部科学省「大学の世界展開力強化事業(中南米)」が採択されて以降、質の保証を伴った中南米諸国大学との交流が以前にも増していっそう盛んになっています。中南米諸国をはじめとしたスペイン語圏・ポルトガル語圏に興味のある方々の、積極的な参加をお待ちしています。

本センターは本学学生を含む学内外の研究者や一般の方の、講演会へのご出席やセンター図書室へのご来訪を歓迎し、研究成果を地域社会へ還元することをめざしています。

ヨーロッパ研究センター(J棟地下1階)

ヨーロッパ研究センターは、日本とヨーロッパ諸国との相互理解に資することを目的とし、広く学際的視野に立って主として現代ヨーロッパの政治・経済・法律・文化・社会に関する研究を行い、その成果を本学における教育はもとより中部地方の地域社会に役立てることを目的として1991年に設立されました。

本センターでは次の活動を行っています。①社会科学系、人文系を問わず、ヨーロッパ研究に関する文献・資料の収集整理、およびその貸出をしています。②内外のヨーロッパ研究者を招いて公開のセミナー、研究会を開催し、広く現代ヨーロッパについての理解が普及するよう努めています。③主として現代ヨーロッパに関する諸問題につき各研究員がそれぞれの研究分野から研究報告を行い(定例研究会)、これに学内外の関心ある人(本学学生を含む)の出席を歓迎して、不断に、かつ開放的な形でヨーロッパ問題への関心の持続と研究の向上を図っています。1995年より「ヨーロッパ研究センター報」を毎年刊行しており、現在25号まで刊行されています。

アジア・太平洋研究センター(J棟地下1階)

アジア・太平洋研究センターは、近年、日本とアジア・太平洋地域との相互交流や地域協力の重要性が高まりつつあることを背景に、2005年4月に設立されました。北東・東南アジアを中心とするアジアと、オーストラリアを中心とする太平洋地域の政治、経済、社会、文化、歴史などの諸分野における研究を行い、南山大学と国内外の大学や各種機関との交流を深めるとともに、研究会や講演会、公開セミナー、資料の

収集や貸出業務等を通じて、南山大学の学生や教職員、さらには地域の皆さんがこれらの地域に対する理解や関心を高めることができるよう、さまざまな活動を行っています。

人間関係研究センター(D棟6階)

人間関係研究センターは2000年4月に設置され、広く学際的な視野にたった人間関係研究として、人間関係に関する理論研究、人間関係へのアプローチ方法の実践研究、人間性豊かな関係性と社会の創生に向けた応用研究に取り組んでいくことを目的としています。センターが行う事業として、①人間関係研究の推進、②公開講座や公開講演会等の開催があります。

言語学研究センター(L棟3階)

本学の言語学研究の伝統を背景に、アジアにおける研究拠点として2003年4月に設立されました。比較統語論と言語獲得論を中心として、アメリカ、ヨーロッパ、アジアの言語学者と共同研究を遂行し、専門誌や学会で成果を公表しています。特に、2006年度からは、コネティカット大学(アメリカ)、ケンブリッジ大学(イギリス)、シエナ大学(イタリア)、国立清華大学(台湾)、EFL大学(インド)と国際共同研究を行い、活発な研究活動を繰り広げています。

また、本センターは、1999年に本学で設立され、世界屈指の理論言語学会に発展したGLOW in Asia (アジア理論言語学会)の事務補助、オランダSpringer社が発行する『Journal of East Asian Linguistics』の編集補助を行うなど、様々な形でアジアにおける言語学研究を支援しています。活動の詳細は、本センターの定期刊行物『Nanzan Linguistics』およびWebページ<http://www.ic.nanzan-u.ac.jp/LINGUISTICS/index.html>にてご覧いただけます。

経営研究センター(J棟7階)

経営学および関連諸分野に関する学内研究者を中心に、学外の研究者に幅広い参加を求め、有用な経営研究成果を広く学術研究さらには社会に発信することをめざす「経営研究センター」として、1983年より提唱者故ヒルシュマイヤー第3代南山大学長の志を載し経営学部組織として活動を開始、1985年4月には全学組織として設立されました。

経営学部の全面的協力の下に、日加経営者セミナー(1988年)、経営学部創立記念国際会議(1995年～1999年)等の国際的プロジェクトや海外研究者の招聘を通じて、南山大学における経営学研究成果を広く海外へも発信し、2000年からは、当センター事業のうち最も基本と考えられる「研究プロジェクト」と「ワークショップ」に絞って、活動を進めています。

2010年度からは、所蔵・収集したアニュアルレポートやCSR報告書をはじめ、経営に関わる資料を広く研究科・学部提供しています。

<https://rci.nanzan-u.ac.jp/m-center/>

法曹実務教育研究センター(A棟1階)

南山大学経済学部在学中に医療過誤の犠牲となり、22年に及ぶ長期療養の後に生涯を閉じられた故稲垣克彦氏のご両親、稲垣克巳・道子ご夫妻から、2006年4月、ご子息の死を無駄にしないことを念願し、医療過誤被害者の相談、救

済、医療事故裁判に通曉した法曹人育成を目的とする寄付のお申し出をいただきました。

「人間の尊厳のために」を教育モットーとする南山大学では、このご寄付を「稲垣克彦基金」として受け入れ、南山大学法曹実務教育研究センターを設置しました。

本センターは、このような稲垣氏のご寄付の趣旨を踏まえ、法曹とりわけ弁護士に必要な面接・交渉の技術、調査・分析能力、法廷尋問技術等を向上させるため模擬医師尋問研修を毎年実施し、また、民法改正セミナー、南山大学法科大学院修了の弁護士による法学部生向けの講演会等を実施しています。

理工学研究センター(S棟1階)

コンピュータおよび通信・制御工学に関連する技術は驚異的な速さで進歩を遂げています。インターネットやスマートフォンに代表される現代の技術は社会の変化を加速させ、社会活動の範囲を地球規模にまで拡張させています。大学には、この急速な変化に対応し、社会に貢献できる技術者の養成が期待されています。本学では、現代社会の要請に応えるために、2000年に初の理系学部である数理情報学部を、2004年には大学院数理情報研究科を開設しました。2009年には学部を2学科から3学科体制に改組し、名称を情報理工学部と改めました。2014年4月には、世界で通用するモノづくりを学ぶカリキュラムに改訂し、理工学部名称変更しました。大学院は2013年4月に理工学研究科に改組されています。

2005年4月に、新学部・研究科と社会との連携の推進およびそれによる教育研究の活性化などを目的として、数理情報研究センターが設置されました。具体的には、(1)産学協同研究の推進(企業との共同研究、受託研究など)、(2)社会人の再教育(講演会、各種講習会、セミナーの開催)、(3)大学院の活性化(大学院学生に対する奨学金事業、大学院学生に対する研究発表経費補助事業)等を行ってきました。学部・大学院の改組に伴い、2014年4月に名称を改め、理工学研究センターとなっています。

※ 各研究センター所蔵の図書資料利用(閲覧・貸出)については、センター事務室でお尋ねください。

図書館利用ガイド

利用の詳細については、図書館Webページをご覧ください。

1. 開館日・開館時間

開館日	開館時間
授業・試験期間の平日 (集中講義期間を除く)	9:00~22:00
上記以外の平日・土曜日	9:00~20:00
授業・試験期間の日曜日	10:00~17:00

- ・閲覧室(1階以外)と書庫は閉館30分前までです。
- ・カウンターでの貸出・返却手続きは閉館15分前までです。
- ・詳しい開館日程については、図書館Webページの「カレンダー」でご確認ください。

2. 利用上の注意

- ・利用時には必ず学生証を持参してください。
- ・乳幼児・児童を伴っての入館はできません。
- ・他の利用者の迷惑にならないように、私語、雑談、携帯電話やスマートフォンなどでの通話は慎んでください。
- ・禁煙、飲食禁止です(ただし、フタの閉まる容器での水分補給は可)。
- ・貴重品は常に身に付け、所持品の管理には気をつけてください。
- ・図書館の資料は、破損したり汚損したりしないよう大切に扱ってください。汚損・破損した場合は賠償となる場合があります。
- ・許可なく、館内での写真撮影はできません。
- ・他の利用者に迷惑をかけたり、図書館員の指示に従わない場合は、利用をお断りすることがあります。
- ・資料を館外に持ち出すときは、必ず貸出手続きをしてください。
- ・資料は返却期限日までに返してください。

3. カウンターサービス

◇貸出冊数・貸出期間

資料	本学学部生 1~3年次生 ※1		本学学部生4年次生	
	期間	冊数	期間	冊数
一般図書	2週間	15冊	2週間	20冊
視聴覚資料				
統計資料				
指定図書				
ブラウジング資料				

※1 科目等履修生、研修生、特別聴講生、外国人留学生別科学生、外国人留学生別科聴講生を含む。

- ＊館外貸出できない資料
- ・貴重書
 - ・カトリック文庫室資料
 - ・参考資料
 - ・製本(雑誌・新聞)
 - ・未製本新聞、未製本雑誌
 - ・マイクロ資料
 - ・視聴覚コーナー資料

学部生には、一般貸出とは別に以下の貸出をします。

対象	貸出内容	貸出冊数	貸出期間
学部1~4年生	夏期・春期休暇中の貸出	10冊	休暇期間中

※指定図書、統計資料、ブラウジングコーナー図書、マイクロ資料、視聴覚コーナー資料は対象外

◇入館

認証式の入館ゲートが設置されていますので、入館には学生証が必要です。

◇貸出

学生証と借りたい資料を貸出・返却カウンターに持参してください。
貸出手続きをしないで、資料を館外へ持ち出そうとすると、退館ゲートでブザーが鳴ります。この際、図書館員が貸出手続きを確認します。

◇貸出期間の延長

予約がなければ何回でも貸出期間の更新ができます。
返却期限日までに、学生証と資料を貸出・返却カウンターに持参してください。

◇返却

返却期限日の2日前にAXIAのメールアドレスにメールを送信します。
返却期限日までに、資料を貸出・返却カウンターに持参してください。
万一、資料を紛失したり、破損した場合は、貸出・返却カウンターに速やかに届け出てください。

◇郵送返却

郵送で返却する場合は簡易書留で郵送してください(宅配便可)。
消印の日付を返却日とします。

◇返却ポスト

開館時間外は返却ポストを設置します(図書館入口付近)。
以下の資料は返却ポストでは返却できません。必ず貸出・返却カウンターで返却してください。
視聴覚資料(付属資料を含む)／汚破損資料／相互貸借で他の図書館から借りた資料／投入口より大きい資料

◇延滞

返却期限日の翌日にAXIAのメールアドレスにメールを送信します。
延滞した場合は、新たな資料の貸出・予約・ILL依頼(文献複写・相互貸借)ができません。

◇資料の紛失・汚損・破損

貸出中の資料を紛失、または汚損・破損した場合は、速やかに貸出・返却カウンターに届け出てください。
紛失または汚損・破損した資料と同一の資料、または評価額(あるいは、その資料を購入した時の価格)にて賠償していただく場合があります。
賠償後に資料が見つかったりも、提出いただいた資料や賠償金はお返しできません。

◇MyLibrary

蔵書検索(OPAC)から、MyLibraryを利用することができます。MyLibraryでは以下のことができます。
・貸出中および学外書庫資料の予約
・ILL複写・貸借依頼
・利用状況の確認 など
・購入依頼(本学専任教員のみ)

◇予約

以下の資料は蔵書検索(OPAC)から予約してご利用ください。
・状態が「貸出中」の資料
・配置場所が「学外書庫」の資料
資料が利用可能になると、AXIAのメールアドレスにメールが送信され、MyLibraryの利用状況の確認「貸出・予約の状況」が「予約棚」になりますので、貸出・返却カウンターまでお越しください。

〈学外書庫保存資料〉

- ・研究用図書の一部
- ・製本雑誌の一部(継続停止の和雑誌・洋雑誌)
- ・アメリカ政府刊行物(USGP)、経済協力開発機構(OECD)の一部
- ・有価証券報告書
- ・旧瀬戸図書館所蔵資料

＊貸出・予約状況について

貸出中	現在借りている資料です。
延滞	貸出中の資料が返却期限日を過ぎています。大至急返却してください。
予約中	現在予約している資料です。
予約配送	予約した資料をデリバリー便で図書館へ移送中です。
予約棚	予約した資料を貸出・返却カウンターで保管中です。貸出・返却カウンターまでお越しください。

◇購入希望図書

南山大学図書館に相応しい資料を、利用者の皆さんの視点

で選んでいただく制度です。

希望者は「購入希望図書申込書」を1階閲覧室の掲示板上に設置してあるポストへ提出してください。

◇一時返却

利用したい資料の返却期限日が1ヶ月以上先の場合、現在貸出中の利用者に連絡をとり、一時的な資料返却の依頼を行います。

希望者は「一時返却申込書」を貸出・返却カウンターへ提出してください。

ただし、学部学生に長期貸出で貸し出している資料についての一時返却の請求は行いませんので予約の手続きを行ってください。

一時返却は現在貸出中の利用者の事情が優先されますので、一時返却できない場合があります。

4. レファレンスサービス

◇相談受付

受付時間	月曜日～金曜日 9:00～16:45
------	--------------------

土・日曜日、夏期事務一斉休業中や年末年始等事務休業日は取り扱いません。

文献の調査、OPACの使い方、Webデータベースの使い方などについての利用相談をレファレンスカウンターで受け付けています。

相談の際には学生証を提示してください。

◇サービスの内容

探している図書や雑誌が学内にない場合、その資料を所蔵している他大学等の図書館に出向いて直接利用したり(訪問利用)、文献のコピーや図書の取寄ができます。

文献複写および相互貸借の依頼については、MyLibraryの「ILL複写依頼」「ILL貸借依頼」からも申し込むことができます。

◇文献複写依頼(有料)

- ・雑誌記事や論文の複写物を他大学・機関より取り寄せます。
- ・送料と見開き一頁約35～55円の複写料が必要です(国内)。
- ・申込から1週間程度かかります(国内)。
- ・受取の際は学生証が必要です。

◇相互貸借依頼(有料)

- ・他大学・機関より資料を取り寄せます。
- ・往復の送料実費が必要です。ただし、協定校(中部大学・愛知学院大学・豊田工業大学)からの取寄は送料無料です。
- ・申込から1週間程度かかります(国内)。
- ・取寄せた資料は、原則として館外貸出はできません。
- ・受取の際は学生証が必要です。

◇所蔵調査(無料)

資料を所蔵している大学・機関を調べます。

◇紹介状の発行(無料)

- ・本学に所蔵していない資料を他大学・機関で利用する場合は、紹介状が必要です。
- ・訪問希望日の1週間前までにお申し込みください。
- ・受取の際は学生証が必要です。

◇データベース検索

- ・有料データベースの検索は図書館員が代行します。

◇国立国会図書館デジタル化資料送信サービス(閲覧:無料、複写:有料)

「著作権法の一部を改正する法律」(平成24年6月27日公布、平成25年1月1日施行)により、国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、入手困難な資料を図書館等に送信することができるようになりました。南山大学図書館では、送信を受けた資料の閲覧・複写サービスを実施しています。

閲覧はレファレンスカウンターでのみできます。

デジタルデータの保存はできません。

*複写料金:モノクロ 10円/枚
カラー 20円/枚

◇ILL依頼状況の確認

MyLibraryの「利用状況の確認」で自分のILL依頼状況の確認ができます。

*ILL依頼状況について

申込中	申込中です。この状態の時のみ、依頼の取消ができます。
調査中	依頼を調査中、または他大学・機関に依頼中です。
受取可 借用可	依頼した資料が届きました。レファレンスカウンターに受け取りに来てください。
貸出中	貸借資料を現在貸出中です。
謝絶	南山に所蔵があるなどの理由で依頼がキャンセルされました。

5. 資料を探す

◇蔵書検索(OPAC)では、以下の資料が検索できます。

蔵書検索(OPAC)には携帯電話からもアクセスできます。

- ・南山大学図書館(学外書庫資料を含む)
- ・人類学研究所
- ・南山宗教文化研究所
- ・社会倫理研究所図書室
- ・地域研究センター図書室
- ・人類学博物館(旧 人類学博物館内資料室を含む)
- ・神言神学院図書館

◇電子リソースポータル

図書館が提供する電子リソース(データベース・電子ジャーナル・電子ブック)を検索することができます。利用条件は、各出版社とのライセンス契約により、使用する場所や同時利用数がそれぞれに異なります。また、レファレンスカウンターで図書館員の代行検索によってのみ利用可能なものがあります。学内ネットワークの点検・調整、また各電子リソース提供会社の都合により、予告なく利用できない場合があります。

◇機関リポジトリ

本学の構成員による電子的な学術研究成果を南山大学機関リポジトリに登録して保存し、インターネットを通じて無償で公開しています。博士論文、南山大学発行の紀要(アカデミア等)が掲載されています。

◇コンソーシアム・相互利用

本学図書館が協定を結び、相互利用が可能な協定館は以下のとおりです。

- ・CAN私立大学コンソーシアム(愛知学院大学・中部大学)
- ・豊田工業大学
- ・大学コンソーシアムせと(瀬戸市立図書館)
- ・日本カトリック大学連盟(上智大学他)

6. 施設・設備

◇コピー機(1階・地下1階)

コイン式とプリペイドカード式のコピー機があります。コピー料金は白黒1枚10円、カラー1枚20円。領収書の発行はできません。

図書館の資料は、著作権法の範囲内で、一人につき一部複写することができます。

「図書館資料複写申込書」を提出し、複写してください。

資料の状態により著作権法に関わらず複写をお断りする場合があります。

図書館の資料以外はコピーできません。ノート等のコピーはご遠慮ください。

*著作権法(第31条 図書館等における複製)

図書館等の利用者の求めに応じ、その調査研究の用に供するために、公表された著作物の一部分(発行後相当期間を経過した定期刊行物に掲載された個々の著作物にあっては、その全部)の複製物を一人につき一部提供する場合。

◇無線LAN(Wi-Fi)整備

図書館内には無線LAN(Wi-Fi)が整備されています。ただし利用には、AXIAのアカウントが必要です。

南山大学の研修施設

次の施設は本学学生、教職員を利用対象としています。
各施設の使用申請窓口や予約先は、窓口案内(P.17)を参照してください。

研修センター

所在地：コバン1階

この研修センターは本学教職員および学生の研修に資する目的で開設された施設です。正課および課外活動関係の集会や宿泊に大いに活用してください。

12人部屋9室	集会のみ	無料
大小会議室	通常期の宿泊	1人1泊 400円
	夏期・冬期の宿泊	1人1泊 500円

※夏期：7月1日～9月30日

冬期：11月1日～3月31日

●使用条件

- 1.利用できるのは、原則として学内者に限ります。
- 2.利用の際は、使用許可申請書に必要事項を記入した上で、使用日の7日前までに担当窓口へ提出し、学生部長の許可を得てください。
- 3.炊事はできません。食堂などを利用してください。
- 4.寝具の貸出を行っています(有料)。使用許可申請を併せて申し込んでください。
- 5.館内は禁酒・禁煙です。
- 6.館内の清掃と、使用後の器具・備品の整理整頓をしてください。

南山学園研修センター

所在地：〒466-0834

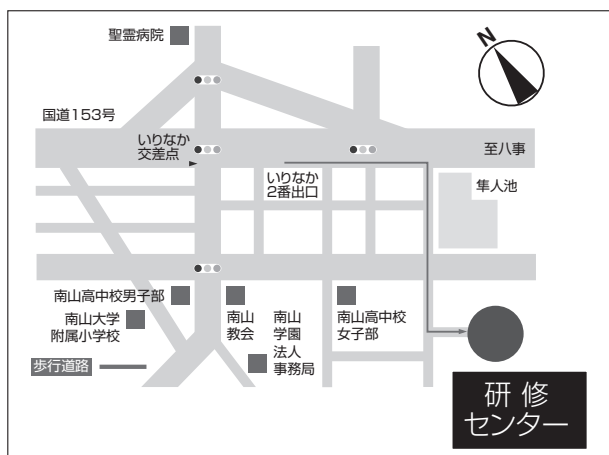
名古屋市昭和区広路町隼人30

Phone 052-837-6466

交通：地下鉄鶴舞線「いりなか」から徒歩6分
駐車場なし

使用料金：1泊 3,200円(食事別)より

※クラス・ゼミ等および課外活動での教職員が責任者となる会合・合宿での利用は50%減免となります。詳しくは学園研修センターにお問い合わせください。



神言会多治見修道院ログハウス研修センター

所在地：〒507-0021

岐阜県多治見市緑ヶ丘38

Phone 0572-22-2038

交通：JR多治見駅から車で5分
中央道多治見I.Cから5分

使用料金：1泊 2,480円(食事なし)



伊勢海浜センター

所在地：〒516-0001

三重県伊勢市大湊町497-1

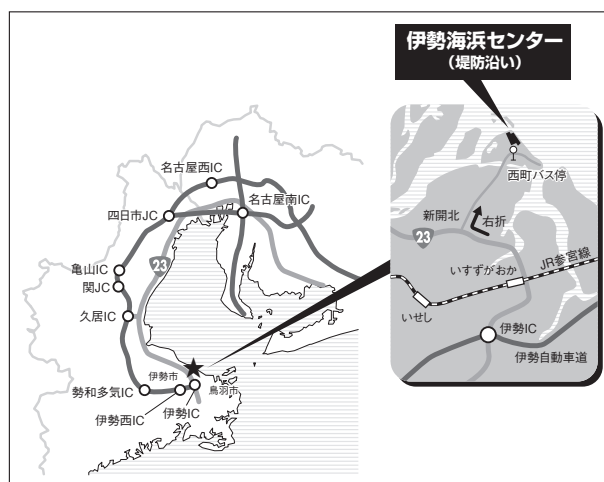
Phone 0596-36-5671

交通：近鉄伊勢市駅からバス20分、
「西町」下車、徒歩7分
駐車場あり

使用料金：1泊 5,800円(朝・夕食込)

事前に委託管理会社(エヌ・イー・エス)で空室状況を確認してください。

Phone 052-832-5963



同窓会

同窓会(同窓会事務局)は同窓会館の1階にあり、本学学生のために次のサービスを提供しています。

- ・奨学金の授与(給付奨学金)
- ・在学生顕彰制度による学生表彰
報奨金・賞状の授与(自薦、他薦を問わず)
- ・課外活動の援助
大学祭、上南戦、受難劇、体育活動、文化活動への資金援助
- ・同窓会館の施設使用(50人
収容)有料、申請手続が必要

詳細は、同窓会事務局までお問い合わせください。



同窓会事務局

開室時間 月～金 8:45～16:45

Phone 052-832-0772

E-mail: dosokai@ic.nanzan-u.ac.jp

Webページ: <http://www.nanzan.ac.jp/DOSOKAI/>

神言神学院

神言神学院は、本学の設立母体である神言会が直接経営管理するカトリック司祭・修道者・宣教師の教育・養成機関で、キャンパスの東側にあります。

神言神学院図書館には、神学・哲学を中心に貴重な多数の文献が集められています。希望者はそれらを利用できます。



南山アーカイブズ

南山アーカイブズは、2014年9月、学校法人南山学園の史資料保存利用施設としてライネルス館に開設されました。南山アーカイブズでは、所蔵史資料の閲覧・複写や展示室の見学が出来ます。展示室では、神言会・聖霊会の来日から今日に至る南山学園の歩みを概観しています。

【開館時間】

月曜日～金曜日 午前10時～午後4時(閲覧室・展示室)

【休館日】

土曜日、日曜日、祝日、南山学園法人事務局の事務休業日

【入場料】

無料で一般公開しています。

学校法人南山学園 南山アーカイブズ

〒466-0838

名古屋市昭和区五軒家町6番地(ライネルス館)

Phone 052-861-0613

E-mail: nanzan-archives@nanzan.ac.jp

Webページ: <https://www.nanzan.ac.jp/archives/>



学則・規程・ガイドライン等については学生生活(学生課)Webページを参照してください。

南山大学学則
南山大学の目的に関する規程
南山大学ハラスメントに関するガイドライン
南山大学個人情報保護に関するガイドライン
南山大学学生表彰規程
南山大学学生懲戒規程
南山大学における試験の不正行為に対する懲戒内規
南山大学停学処分に関する取り扱い規程
南山大学における休学および退学に関する規程
南山大学創立50周年記念奨学金規程
南山大学奨励奨学金規程
南山大学給付奨学金規程
南山大学友の会給付奨学金運用規程
南山大学同窓会給付奨学金規程
南山大学随時奨学金貸与規程
南山大学入学時奨学金等貸与規程
南山大学課外活動取扱要項
南山大学課外活動取扱要項に係る運用ルール
課外活動団体部室管理取扱要領
課外活動団体の処分に関する取扱要領
南山大学体育館規程
南山大学体育館運営管理細則
南山大学グラウンド・コート使用心得
南山大学グラウンド照明設備の使用心得
南山大学体育センター使用についての原則
南山大学体育センター使用心得
南山大学体育施設使用上の注意
南山大学体育センタートレーニングルーム使用心得
南山大学学生歌
南山大学研修センター使用規程
南山大学研修センター使用細則
飲酒について—南山大学の基本方針と注意喚起—
学生の支援に関する方針
障がいのある学生への支援に関する方針

南山大学学生歌(学生生活(学生課)Webページで音源等を視聴できます。)

1. 清麗八事の山近く
緑にしげき松の風
仰いで高き青空よ
正しき心の若人が
自由と平和守り行く
※ほまれはここに 我が南山
輝く母校 我が南山
2. 文化の園に競い咲く
かおりの花をしきたえに
学びて広き教養を
信ずる自己のいしずえに
誓いし務め負い行かむ
※
3. 厳しき人の世に立ちて
正しき愛の十字架を
久遠の道のシンボルと
かかげて共に若人よ
りりしく強く生きゆかむ
※

2020年3月26日 印刷
2020年4月1日 発行

編集発行者 南 山 大 学
〒466-8673
名古屋市昭和区山里町18
学生課
電話 (052)832-3118

印 刷 株 式 会 社 荒 川 印 刷
〒460-0012
名古屋市中区千代田2-16-38
電話 (052)262-1006

Campus Map



●AED設置場所

- キャンパス外設置場所 6カ所
- ・名古屋交流会館 玄関正面の壁
 - ・山里交流会館 玄関正面の壁
 - ・フォワイエ南山 1階自動扉内壁面
 - ・四ツ谷の里 1階玄関内 自立スタンド台
 - ・蒲都市営共同艇庫
 - ・漕艇部庄内川艇庫

避難経路図

災害の際は自身の安全確保を最優先してください。

